

第Ⅲ部：社会、その他 (Society & Others)

中扉の裏白ページ

Ⅲ－１ 情報誌記事解題の解説

この第Ⅲ部に収録した 532 点の雑誌記事は、第Ⅰ部同様、*Tempo* 誌および *Forum keadilan* 誌の 2 誌から採録したもので、各種社会問題、各民族・社会集団の慣習、法律、司法、教育、マスコミ、環境、災害、医療、ジェンダー、刑事犯罪、芸能、歴史、他をテーマにしている。なかでもスハルト体制期に富と権力を背景にした多くの不正や犯罪を行ったスハルト元大統領三男トミー・スハルト（本名：フトモ・マンダラ・プトウラ）の裁判、2002 年初めのジャカルタ大洪水、2004 年末のインド洋大津波に関してはそれぞれ 10 点を超す記事が収録されている。また、それぞれ複数のトピックからなる環境破壊、イスラム、司法界の腐敗・汚職関連記事も各々 10 点を優に上回る。以下、各年ごとに主立った記事をみていきたい。

2001 年はイスラムの最近の動向に関して 7 点（1930, 1933, 1984, 2005, 2007, 2009, 2010）が掲載されたほか、汚職（ないし汚職疑惑）に関する記事が 8 点（1943, 1949, 1955, 1963, 1979, 1982, 1983, 2006）掲載され、トミー・スハルト関連記事へと続いていった。汚職のなかでも、法を守る立場にある最高裁判所や最高検察庁における贈収賄事件が特に目を引くものになっている。このほか、2～3 点ではあるが、中国旧正月祝日化問題（1939, 1942）、西カリマンタン州シンカワンの華人社会のルポ（1952）などの中国系インドネシア人関連記事、森林資源の減少（1975）や海岸浸食防止用波消ブロック設置が生み出した環境保護政策と宗教の対立（1996）など環境問題関連記事も掲載された。

2002 年 2 月にジャカルタを襲った大洪水は、上流での別荘地開発にともなう保水林の伐採（2028）やグリーンベルト地帯のビジネス用地への転用（2020）など人災の側面が強く、国民の批判の対象となった。この年、環境問題では森林破壊（2022）、自動車の排ガス問題（2026）、バリ島で開催された環境サミット（2053）、工場の廃液問題（2070）、ジャカルタ湾干拓（2092）などが取り上げられた。中国系インドネシア人に関しては各界の著名中国系インドネシア人の主張（2023）、中国旧正月行事（2026）、法的差別問題（2054）などが掲載された。教育関係では単位取得を目指さない教育コース（2046）、イスラム教育機関（2064）、早期英才教育（2071）などに注目が集まった。司法界が抱える諸問題を取り扱う記事（2013, 2075, 2077, 2083, 2084）も多数掲載された。

2003 年も汚職（2134, 2143）とその専門取締機関の設立に関する記事（2146, 2186, 2195, 2196）が目立ったが、その他では、マスコミ報道に対する暴力事件（2124, 2128, 2129）や内務行政官養成単科大学（STPDN）内のリンチ殺人事件（2170～2172, 2174, 2178）に注目が集まった。環境問題では、森林資源の枯渇（2135, 2144, 2149）、地域の環境を破壊した会社（2117）、ジャカルタ湾干拓（2121）などが取り上げられた。法律関係では著作権法の施行（2160～2162）、イスラム色の強い刑法改革草案（2175, 2177）、国民教育システム法法案関連記事（2147）が収録されている。11 月にはキリスト教の一セクトが引き起こした事件（2188, 2190, 2191）がスクープされた。

2004年には北スラウェシ州ブヤット湾の水銀汚染関連記事（2255, 2256, 2261, 2271）を筆頭に、アチェ横断道路（Ladia Galaska）建設と生態系破壊（2201, 2251）、違法森林伐採（2225）、パルプ工場の進出と森林破壊（2245）、原油による海洋汚染（2250）、海外からの毒性廃棄物の持ち込み（2278）など環境に関する記事が目立った。また、汚職関連の記事では、2月のアクバル・タンジュン・ゴルカル党党首のブログ基金収賄疑惑に対する最高裁判所の無罪判決（2213, 2215, 2217）が注目された。コラン・テンボ紙を実業家トミー・ウィナタが名誉毀損で訴えた裁判はマスコミ側の敗北に終わった（2206, 2266, 2273）。イスラム関係記事も多く、イスラム暦新年（2221）、夫婦平等法素案（2280）、イスラム説法師（2288）、キリスト教関連施設建設とイスラム住民（2289）などの関連記事が掲載された。教育関係では教育費の高騰（2264, 2268）が注目された。

2005年に入ると前年末のインド洋大津波関連記事（2306～2307, 2310～2317, 2330, 2342）とニアス島地震（2339, 2342, 2344）の惨状が数多く報道された。環境関係ではジャカルタの排ガス規制（2325）、バンドンのゴミ山崩落（2332）、違法森林伐採（2346）、首都公共交通機関のガス燃料使用（2353）などが取り上げられた。イスラム関係では中部ジャワにおけるサパル月（イスラム暦2月）の儀礼（2345）、イスラム法の適用問題（2350）、イスラム教義に違う指導者と出版物（2355, 2364）、アチェにおける鞭打ち刑の復活（2367）、イスラム教義から逸脱したセクト（2385）、11項目のファトワ（法学裁定）の波紋（2391, 2392）、イスラム知識人ヌルホリシュ・マジドの逝去とその著作（2405）などが掲載されている。

汚職関連記事では最高裁判所を代表とした法曹界の汚職事件（2358, 2424, 2426, 2430, 2431）が目立った他、スハルトの異父弟による検察所と裁判所への贈賄事件（2441, 2443）も大きく報道された。教育関係では大学学費の高騰（2371）、落第とドロップアウト問題（2377, 2383）、学歴捏造（2399）、免状授与システムの問題点（2445）、などが注目された。中国系インドネシア人関連では、旧正月準備（2323）、イスラム改宗（2439）などが報道テーマとなった。

III — 2 情報誌記事解題

2000年 (社会、その他)

1921

Pesakitan istimewa bernomor 2085.
(Laporan utama) Tempo 29(36) Nov. 12, 2000: p.20-25
ボロブドゥール・ホテルでの密会の後、スハルト三男の恩赦要求を却下したワヒド大統領。

1922

Wajah dunia Islam dalam sinema – antara sensor, dakwah, dan dunia personal.
(Layar) Tempo 29(36) Nov. 12, 2000: p.70-74, 76-78, 80-81, 84, 86, 88
映画に映し出されるイスラム世界。エジプト、イラン、パレスチナ、インドネシアの例。

1923

Pelarian si nabi istimewa. (Laporan utama)
Tempo 29(37) Nov. 19, 2000: p.20-23
恩赦が却下された後、行方不明となったスハルトの三男。フローレスのやくざに匿われた？

1924

Urusan ranjang pegawai negeri. (Selingan)
Tempo 29(37) Nov. 19, 2000: p.70-74, 77, 80-83, 85
公務員の一夫多妻を制限し離婚を困難にさせるはずだった政令(1983年第10号)の効果に多くの疑問が浮上。各州、各省別重婚者、離婚者数の統計、違反の犠牲者(女性)の事例収録。

1925

Haruskah Kapolri dan Jaksa Agung mundur? – rayuan maut Tommy. (Laporan utama)
Tempo 29(38) Nov. 26, 2000: 20-25
スハルト三男の逮捕を困難にさせるものは何か。彼は大統領との密会時のテープを脅迫に使用？

1926

‘Borobudurgate’, peluru terakhir Tommy.
(Laporan utama) Tempo 29(39) Dec. 3, 2000: p.20-24
大統領とトミーの裏取引疑惑。去る10月に

ボロブドゥール・ホテルで密会？

1927

Antara Buru dan Nusakambangan.
(Selingan) Tempo 29(41) Dec. 17, 2000: p.64-68, 70-72, 75, 77, 80, 82, 85-86
政治犯が開拓したブル島の昨今と元政治犯たちのたどった道。ヌサカンバンガン島刑務所の現状と脱走を試みた囚人の告白。

1928

Mengkaji kembali pariwisata – Ceningan menolak investor, dan sampah di Bunaken.
(Suplemen) Tempo 29(41) Dec. 17, 2000: p. 95-98, 100, 102, 104
インドネシア各地の観光スポットの紹介。

2001年 (社会、その他)

1929

Kata-kata berbalas bogem mentah. (Abad [21] baru Indonesia – media) Tempo 29(43/44) Jan. 7, 2001: p.61-68

2000年に生じた対メディア暴力事件を振り返る。今後の出版・放送業界を予測。

1930

Menunggu panen zakat era baru. (Abad [21] baru Indonesia – agama) Tempo 29(43/44) Jan. 7, 2001: p.78-80, 83

オンラインを含めた近代的な喜捨(ザカット)の管理法を検討し始めたムスリムたち。

1931

Desain negara tambal sulam. (Abad [21] baru Indonesia – hukum) Tempo 29(43/44) Jan. 7, 2001: p.84-88, 91, 92

憲法改正の進行状況を点検する。行政システム、大統領選、法の整合性は未検討の状態。

1932

Sinetron Indonesia – carut-marutnya dalam air mata, wajah rupawan, dan realitas semu. (Layar) Tempo 29(45) Jan. 14, 2001: p.46-49, 51-52, 55-[57], 60, 62-63, 65-70

ここ10年で国民の間で定着してきたテレビ・ドラマの魅力を探る。人気俳優8人の紹介。写真多数収録。

1933

Fatwa siapa yang harus diikuti – ingar-bingar khilafiah Ajinomoto. (Laporan utama) Tempo 29(46) Jan. 21, 2001: p.14-25

豚からつくった酵素を使用していた味の素。それはイスラムの教えで許されるか否かをめぐりワヒド大統領とウラマ協議会が対立。

1934

Sinta Nuriyah Abdurrahman Wahid – “Banyak tafsir agama diskriminatif terhadap perempuan.” (Wawancara) Tempo 29(46) Jan. 21, 2001: p.38-40, 42

大統領夫人がイスラムと女性について語ったインタビュー記事。

1935

Menatap masa depan Indonesia. (Edisi khusus) Forum keadilan 9(41) Jan. 21, 2001: p.30-77

多面的な危機に瀕するインドネシアの状況を分野別に解説。民族主義運動指導者たちの智慧に学ぶ。コラム記事多数。

1936

Bom Tommy di Taman Mini? (Laporan utama) Tempo 29(47) Jan. 28, 2001: p.20-23

インドネシア・ミニアチュア公園で3パックの爆弾を発見。トミー・スハルトに助言をする占い師を政府機関爆破の容疑者として逮捕。

1937

Batavia – hilangnya sebuah kota masa lalu. (iQra) Tempo 29(47) Jan. 28, 2001: p.53-57, 59-61, 65-69

植民地時代のバタヴィアに存在した数々の建築物を収めた写真集の紹介。写真25葉収録。

1938

Katanya menambah perkasa, katanya menghaluskan kulit, katanya... (Pariwara) Tempo 29(47) Jan. 28, 2001: p.77-79, 81-82, 84

市場に大量に流れ込む各種ビタミン剤。ほんとうに効くのか。

1939

Kebebasan semu di tahun baru. (Fokus) Forum keadilan 9(42) Jan. 28, 2001: p.70-76

中国文化・伝統の表現が自由化された今日、中国旧正月の国民祝日化は度を超えた要求か。

1940

Dicari: lukisan koleksi Bung Karno. (Investigasi) Tempo 29(48) Feb. 4, 2001: p.43-46, 48-50, 53-54, 56-57

故スカルノ大統領が所有していた名絵画が紛失、破損、または他人の手に。その計り知れない歴史的、芸術的価値。

1941

Ilusi menggenggam Dana Revolusi. (Forum utama) Forum keadilan 9(43) Feb. 4, 2001: p.12-23

故スカルノ大統領が残したとされる総額2.5兆ルピアの「革命資金」の存在根拠を探る。

1 9 4 2

Warin Diyo Sukisman – “Orang Cina cenderung eksklusif”. (Wawancara) Tempo 29(49) Feb. 11, 2001: p.38-40, 42

中国旧正月を祝うため学長を務める大学を休んだジャワ人退役中將へのインタビュー。

1 9 4 3

Sebelum putus asa menghadapi korupsi. (Aksara) Tempo 29(49) Feb. 11, 2001: p.83-97

歴史を振り返り、多方面から汚職を減らす効果的な手段を考える。

1 9 4 4

K. H. Abdullah Abbaas – “Gus Dur mendapat selendang emas”. (Wawancara) Tempo 29(50) Feb. 18, 2001: p.38-40, 42

チルボンのイスラム寄宿学校長老の目からみたワヒド大統領と批判勢力。

1 9 4 5

Ketika lidah Merapi menyentuh. (Fokus) Forum keadilan 9(45) Feb. 18, 2001: p.39-45

活発な活動を続ける中部ジャワのムラピ山。砂防建設と同火山にまつわる住民の信仰。

1 9 4 6

Baharuddin Lopa – “Maklumat itu tidak berarti jika menterinya melanggar”. (Wawancara) Tempo 29(51) Feb. 25, 2001: p.38-40, 42

バハルディン・ロパ新司法人権相が混迷を極めた状況下での法の確立の仕方を語る。

1 9 4 7

Muhamadiyah - NU – kisah dua saudara. (Fokus) Forum keadilan 9(46) Feb. 25, 2001: p.49-55

2大イスラム団体（ムハマディヤとNU）の特質と対立の歴史。

1 9 4 8

Bandit-bandit jalanan Jakarta. (Forum utama) Forum keadilan 9(46) Feb. 25, 2001: p.78-86

ジャカルタで発生した各種犯罪の特徴を分析。自家用車、公共交通機関、飲食店などをねらった犯罪はどこで多く発生しているか。

1 9 4 9

Mengadili Cendana – kartu sakti presiden. (Laporan utama) Tempo 29(52) Mar. 4, 2001: p.20-26

スハルトの長女と異父弟が汚職容疑者に？
ワヒド大統領は本気で汚職撲滅を目指すか？

1 9 5 0

Lat, Crayon Shin-chan, dan Calvin – kisah para bocah dalam komik. (Layar) Tempo 29(52) Mar. 4, 2001: p.57-60, 63-66, 69, 72, 75-76, 78

マレーシアの漫画家がクレヨン・しんちゃんを批評。漫画の好みは国ごとに異なる？

1 9 5 1

Memburu keluarga Cendana – T-221 ada di Jakarta. (Forum utama) Forum keadilan 9(47) Mar. 4, 2001: p.12-23

逃亡中のスハルトの三男はジャカルタに潜伏？長女、長男、異父弟は汚職容疑者に。

1 9 5 2

Mimpi jadi Cinderella di Singkawang. (Selingan) Tempo 30(3) Mar. 25, 2001: p. 67-70, 72-73, 76, 78-80

カラー写真で綴る西カリマンタン州シンカワンの華人社会。第1次産業従事者の多さと貧困。娘を台湾人に嫁がせるのが唯一の脱出法か。

1 9 5 3

Ricardo dan rusuh Cipinang. (Forum utama) Forum keadilan 9(51) Apr. 1, 2001: p.12-23

チピナン刑務所の服役囚たちがデモ。同刑務所の緩い規律と刑務所内ビジネスの実態。

1 9 5 4

Bob dan Ginandjar masuk, kapan Marzuki *exit*? (Laporan utama) Tempo 30(5) Apr.

8, 2001: p.20-29
自らへの攻撃に対抗し、ゴルカル党の汚職を
暴くため内閣改造を大統領が画策？

1 9 5 5
Benang kusut pemberantasan korupsi –
menyikat koruptor ala Gus Dur. (Forum
utama) Forum keadilan 10(2) Apr. 15,
2001: p.12-20
汚職撲滅に関する 1999 年法律第 31 号の
改正を急ぐ政府の動きを追う。

1 9 5 6
Menegakkan HAKI di atas angin. (Forum
utama) Forum keadilan 10(4) Apr. 29,
2001: p.12-23
知的財産権の保護と先進国・途上国間の利害
の相違。CD、DVD 販売等、直面する課題。

1 9 5 7
Pablo Neruda, Batavia, dan kudeta. (iQra)
Tempo 30(9) May 6, 2001: p.71-77, 80-81,
83-84
バタヴィアで苦難の日々を送ったノーベル
賞受賞のチリの詩人。その足跡を辿る。

1 9 5 8
Pertarungan atau sandiwara – taktik
Marzuki menaruh Ginandjar di 'bangku
belakang'. (Laporan utama) Tempo
30(10) May 13, 2001: p.20-29
南ジャカルタ地裁がギナンジャールを釈放。
背後に最高検長官と国軍司令官が暗躍？一方
でギナンジャールとマルズキはゴルカル党党
首の座をめぐって争っていたとの推測も。

1 9 5 9
Pendidikan non-gelar – dengarlah Iwan Fals.
(Suplemen) Tempo 30(10) May 13, 2001:
p.67-68, 70-72
非学位取得教育プログラムの種類と必要と
される背景。大量の失業者を収容？

1 9 6 0
Yang jatuh di kaki pria Jepang. (Investigasi)
Tempo 30(10) May 13, 2001: p.75-77, 80,
82-90
ヤクザと言葉の壁に阻まれて、アーティスト

として働く夢が消えてしまったインドネシア人
女性労働者。搾取された上に売春婦になる例も。

1 9 6 1
Konsep baru perlindungan saksi. (Forum
utama) Forum keadilan 10(6) May 13,
2001: p.12-23
容疑者や被告人に比較し、証人の権利と保護
が十分でない現行の刑事訴訟法を考える。

1 9 6 2
Menggagahi internet demi politik, cinta, atau
uang. (Selingan) Tempo 30(11) May 20,
2001: p.63-65, 68-69, 72-74, 76
一人が捕まっても次々に現れるハッカーた
ち。動機は政治活動、社会的反抗、など様々。

1 9 6 3
Prof. Bagir Manan – “Jangan sampai
independensi MA dipersoalkan”.
(Wawancara) Forum keadilan 10(7) May
20, 2001: p.58-61
バギール・マナン最高裁新長官に最高裁判所
を汚職からどう浄化するかを聞く。

1 9 6 4
Sinema Indonesia baru – menggeliat setelah
mati suri. (Layar) Tempo 30(12) May 27,
2001: p.59-70, 72-77
国産映画が新世代の出現で復活の兆し。

1 9 6 5
Perang melelahkan melawan narkoba.
(Kesehatan) Tempo 30(12) May 27, 2001:
p.80-93
100 万人を超すと推定される薬物中毒患者。
治療クリニックや社会復帰施設も急増中。

1 9 6 6
RUU Penyiaran – hantu baru kebebasan
pers. (Forum utama) Forum keadilan
10(8) May 27, 2001: p.11-21
放送法案の問題点は何か？ラジオ、テレビ監
視委員会が必要か？電子メディアの支配構図。

1 9 6 7
Memberantas ideologi “lamuan”. (Fokus)
Forum keadilan 10(8) May 27, 2001:

p.41-47
マルクス・レーニン主義関連本の内容と出版
の背景。左翼思想の批判本をなぜ焚書するか？

1968
Ajal terpidana di regu tembak. (Hukum)
Tempo 30(13) June 3, 2001: p.142-145
インドネシアにおける死刑への賛否。1978
年以降の死刑執行記録。

1969
Bung Karno 100 tahun – Sukarno: seorang
Bima, seorang Hamlet. (Liputan khusus)
Tempo 30(14) June 10, 2001: p.[18]-53
スカルノ生誕 100 周年記念特集。芸術への
志向、メガワティや他の女性との関係をルポ。

1970
Bung Karno 100 tahun – yang pertama dari
Giebels. (iQra) Tempo 30(14) June 10,
2001: p.56-62, 65-70
1901 年から 1950 年を対象にしたスカルノ
の伝記の新事実。著者へのインタビュー収録。

1971
Bung Karno 100 tahun – Bung Karno dan
fotografi. (Esai foto) Tempo 30(14) June
10, 2001: p.72-81
写真で綴るスカルノ。1916 年から 59 年にか
けての写真 11 葉収録。

1972
Klenik dalam kemasan modern. (Selingan)
Tempo 30(16) June 24, 2001: p.63-66, 69,
72-74, 76
政治経済の急速な変化や報道の自由化を背
景に活性化する祈祷師たちのビジネス。

1973
Mencuri mayat dari nirwana. (Selingan)
Tempo 30(17) July 1, 2001: p.63-66, 69,
72-74, 77
トラジャ人の古い墓からミイラや物品の盗
難が相次ぐ。海外への販売網も存在。

1974
Kisah Lopa dan (calon) penggantinya –
sulitnya mengisi kursi “panas” jaksa agung.

(Liputan utama) Tempo 30(19) July 15,
2001: p.20-27

ロパ最高検長官の急死を受けて、後任候補と
してマルシラム・シマンジュンタックやスパル
マンらの名が。マフフッドは新司法人権相か？

1975
Ketika hutan cuma tersisa di museum.
(Suplemen) Tempo 30(21) July 29, 2001:
p.63-73

森林違法伐採、木材密輸、CGI の警告。減
少する一方の森林資源。

1976
Kongres bahasa Jawa – bahasa di tangan
Orba. (Fokus) Forum keadilan 10(17)
July 29, 2001: p.43-49

消滅の危機に直面するインドネシアの地方
語。第 3 回ジャワ語会議で何が訴えられたか。

1977
Tommy, bom, dan tuduhan pembunuhan.
(Laporan utama) Tempo 30(24) Aug. 19,
2001: p.100-116

テロ行為を含む様々な悪事に関わったトミ
ー・スハルト。ファミリーに対し、身柄引き渡
し圧力。スハルトの次女が自らの弟を弁護。

1978
Tommy dan teror – kisah pengebom dan
pembunuh hakim. (Forum utama)
Forum keadilan 10(20) Aug. 19, 2001:
p.11-23

シャフィウディン判事の殺害事件で高まる
トミー・スハルトへの疑惑。警察は爆弾テロ用
の物的証拠も多数押収。

1979
Jaksa Agung Muhammad Abdul Rahman –
“Dalam 100 hari, akan ada hasil kerja
Kejaksaan Agung”. (Wawancara) Tempo
30(25) Aug. 26, 2001: p.42-44, 46
収賄疑惑がかかる新最高検長官へのインタ
ビュー記事。

1980
Kejaksaan Agung ideal – bukan dewa
keadilan. (Fokus) Forum keadilan 10(21)

Aug. 26, 2001: p.43-46
 最高検長官の選出方法はどうあるべきか。マレーシア、シンガポール、香港との比較。

1981
 Elza Syarief – “Masak Tommy sejahat itu?”
 (Wawancara) Forum keadilan 10(21) Aug. 26, 2001: p.72-76
 トミー・スハルトの顧問弁護士たちがシャフイウディン判事に贈賄工作？その一人へのインタビュー記事。

1982
 Kasus baru suap hakim agung – sang hakimpun tafkur di depan Alkitab.
 (Laporan utama) Tempo 30(26) Sept. 2, 2001: p. 20-28
 2名の最高裁判事にかかる5億5000万ルピアの収賄疑惑。

1983
 Ketika buronan itu konglomerat. (Fokus)
Forum keadilan 10(22) Sept. 2, 2001: p.43-49
 エディ・タンシル、ヘンドラ・ラハルジャら巨額汚職事件の犯人の追跡を警察は本気でやっているか。

1984
 Esposito, ensiklopedia, dan kita. (iQra)
Tempo 30(28) Sept. 16, 2001: p.67-70, 73-74, 77, 80, 82-85
 刊行なった近代イスラム世界に関する百科事典のインドネシア語翻訳版が完成。インドネシアのイスラム思想のオリジナリティを編者に聞く。

1985
Sponsorship – demi prestasi atau rezeki?
 (Suplemen) Tempo 30(28) Sept. 16, 2001: p.89-90, 92-[97]
 スポーツ界に再参入したスポンサーたち。助成金は実績を高めるか。

1986
 Masinis pula yang disalahkan. (Fokus)
Forum keadilan 10(24) Sept. 16, 2001: p.47-53

頻発する鉄道事故。その防止法を考える。

1987
 Sebuah impian dari rumah liar. (Selingan)
Tempo 30(29) Sept. 23, 2001: 67-70, 72, 76-78
 バタム市政府を悩ます数千の不法家屋。9月から新規求職者の来島を制限する条例を公布。

1988
 Judi gelap dan setoran buat polisi. (Fokus)
Forum keadilan 10(25) Sept. 23, 2001: p.43-49
 ますます盛んになるトゲル賭博。警察や軍はみてみぬふり？ミナハサ県では賭博を合法化。

1989
 Ikhwanul Muslimin – sebuah wajah teduh.
 (Selingan) Tempo 30(30) Sept. 30, 2001: p.67-72, 75-76, 80, 85-86, 90
 エジプトの巨大イスラム団体とその思想がインドネシアに与えた影響。

1990
 Tommy lepas, Beddu Amang diperas.
 (Laporan utama) Tempo 30(32) Oct. 14, 2001: p.20-27
 トミーの再審請求が承認されたのはワヒド大統領とトミーとの密約の成果か。量販店関連汚職の容疑者ベッドウ・アマンは125億を搾り取られたと告発。前大統領の取り巻きも関与？

1991
 Balas budi mahkamah buat Tommy.
 (Laporan khusus) Tempo 30(32) Oct. 14, 2001: p.116-118, 120-125
 食料調達汚職事件に関わったとされるトミーを最高裁が釈放。汚職撲滅は口先だけか。

1992
 Ketika Tommy dibebaskan – absurditas keadilan. (Forum utama) Forum keadilan 10(28) Oct. 14, 2001: p.11-24
 トミーを釈放した最高裁と高まる司法への不信感。彼が判事の殺害を命じたのは本当か？

1993
 Timor Loro Sa'e menapak tanah. (Selingan)

Tempo 30(35) Nov. 4, 2001: p.65-70, 73, 76, 78, 80

国連が2002年5月20日を東チモール独立の日と決定。貧困、犯罪、社会格差の克服に直面せざるをえない住民たち。

1994

Ada apa dengan film? (Fokus) Forum keadilan 10(31) Nov. 4, 2001: p.39-53

永い眠りの後やっと目覚めの徴候を見せ始めたインドネシア映画。各地で製作が活発化。

1995

Ladang korupsi di balik surat izin mengemudi. (Investigasi) Tempo 30(36) Nov. 11, 2001: p.[71]-74, 76, 80

免許証関連事務で1日に2億2500万ルピアの徴収金を手にするジャカルタ首都警察。一方、国庫納入金は1200万。差額は警官の懐に？

1996

Bali dan semilir angin pantai. (Fokus) Forum keadilan 10(32) Nov. 11, 2001: p.39-47

バリ島の海岸浸食を防ぐために積まれた数万トンの波消しブロック。一方で、宗教儀礼と美観の妨げになると反対の声。

1997

Advokat di lintas batas negara. (Fokus) Forum keadilan 10(33) Nov. 18, 2001: p.35-43

ある独立機関が22弁護士事務所のみを海外投資家のパートナーとして推薦。外国人顧客を数多く持つ他の有名事務所が選外だった訳。

1998

Sembilan naga pengusaha judi. (Forum utama) Forum keadilan 10(34) Nov. 25, 2001: p.11-25

毎晩数億ルピアの売上げがあるジャカルタの賭博場。その場所、設備、胴元をリスト化。賭博場を牛耳る9人とは誰か。

1999

Awas virus pemberontakan lokalholik. (Fokus) Forum keadilan 10(35) Dec. 2, 2001: p.35-50

バンドンの若者たちが創る新しい生活スタイル、音楽、地元製品。

2000

Tommy tertangkap – dua kaset hasil penyadapan telepon membuat buronan dari Cendana itu terjat. (Laporan utama) Tempo 30(40) Dec. 9, 2001: p.20-30, 32-33
警察がトミー・スハルトをついに逮捕。電話の盗聴記録では逃亡先で自由に外と連絡していたことが判明。警察は逃亡幫助罪の疑いがもたれる女優を追跡中。

2001

Di balik tertangkapnya sang buron – agenda tersembunyi di balik penangkapan Tommy. (Forum utama) Forum keadilan 10(36) Dec. 9, 2001: p.11-25
トミー・スハルトの逮捕劇と謎。3カ月の張り込みと逮捕翌日のビマントロ警察長官辞任。

2002

Meretas jalan dunia hakim. (Fokus) Forum keadilan 10(36) Dec. 9, 2001: p.35-50
判事の給料の安さが一因といわれる裁判所内の贈収賄。新しい大統領決定は事態を好転させるか？

2003

Benarkah dia sang pembunuh? – alibi Garut dan Operasi Bajak Sawah. (Laporan utama) Tempo 30(41) Dec. 16, 2001: p.20-24
取調のなかでトミーは判事殺害を指示したことを強く否定。テンポ誌は数名の女性が逃亡を支えた証拠となる電話記録を入手。

2004

Neraka di balik racikan surga. (Investigasi) Tempo 30(41) Dec. 16, 2001: p.57-60, 62-64, 68, 70, 72, 74-75, 77
ジャカルタのカンプン・バリで何の障害もなく平和裡に行われる覚醒剤売買の実態をルポ。

2005

Dakwah dengan aransemen baru. (Liputan khusus) Tempo 30(42) Dec. 23, 2001: p.86-97

イスラムの布教活動において各説法師・組織がより大きな効果を求めて行う工夫。インターネットの利用や環境への配慮、他。

2006

Rencana abolisi untuk Soeharto. (Laporan khusus) Tempo 30(43) Dec. 30, 2001: p.20-24

7財団の資金の不正流用疑惑がもたれるスハルト元大統領を容疑者にする手続きが暗礁に乗り上げるなか、最高検長官がその廃止を提案。

2007

Syariat Islam di Indonesia – wajah santri yang terbelah. (Laporan utama) Tempo 30(43) Dec. 30, 2001: p.44-56

ジャカルタのイスラム専門大学の調査ではますます敬虔性を高めるインドネシアのムスリムたち。反面、暴力と汚職はなぜ減らない？

2008

Sebuah bangsa yang tersesat. (Forum utama) Forum keadilan 10(37) Dec. 30, 2001: p.8-48, 116-149

多面的な危機に襲われ、再生への出口がみえないインドネシア。道徳、司法、経済、メディア、などの各分野で何が問題なのか。

2009

K. H. Abdullah Gymnastiar – “Bangsa kita kurang imam”. Forum keadilan 10(37) Dec. 30, 2001: p.12-15

バンドンのイスラム導師が道徳の衰退をいかに克服するかを語ったインタビュー記事。

2010

Potret pesantren di Indonesia. (Fokus) Forum keadilan 10(37) Dec. 30, 2001: p.51-115

グローバリズムの挑戦のなかで存在価値を高めるイスラム寄宿学校。教育以外の貢献は？

2002年 (社会、その他)

2011

Indonesia masih surga koruptor. (Liputan khusus 2002 – hukum) Tempo 30(44) Jan. 6, 2002: p.92-97

2001年に起こった司法界、汚職、人権状況に関連した事件を回顧。

2012

Hutan dilibas, banjir menggilas. (Liputan khusus 2002 – lingkungan) Tempo 30(44) Jan. 6, 2002: p.98-102

写真でみるインドネシアの森林破壊と首都圏のゴミ問題。森は死んだのか。

2013

Surat-surat sakti wakil ketua MA – menebar katebecece dari balik jubah. (Forum utama) Forum keadilan 10(39) Jan. 13, 2002: p.11-23

汚職監視NGOが最高裁副長官署名の権威書簡(Surat Sakti)の解説に成功。なぜ「改革」時代にも過去の悪習が繰り返されるか。

2014

Perempuan di dunia brengsek para lelaki. (Fokus) Forum keadilan 10(39) Jan. 13, 2002: p.31-53

ますます顕在化する女性に対する暴力と不公正。フェミニストたちの主張は何か。

2015

Debat kloning peta Jakarta. (iQra) Tempo 30(47) Jan. 27, 2002: p.59-65, 68-71

ジャカルタ都市圏無断複製疑惑事件のルポ。

2016

For sale profesor, doktor, master... (Selingan) Tempo 30(48) Feb. 3, 2002: p.45-49, 51-52, 56-57

調査研究、論文執筆なしで学位のみを千数百万ルピアで販売する商売が繁盛。顧客は一般人から政府高官、企業家まで。

2017

Kampanye di air keruh? – mengail massa di tengah musibah. (Laporan utama) Tempo

30(49) Feb. 10, 2002: p.20-26
首都圏を襲った大洪水に乗じて、各政党が救援活動を開始。政党のシンボル付詰所も建設。

2 0 1 8
Memilah sampah dari rumah. (Lingkungan) Tempo 30(49) Feb. 10, 2002: p.74-77
ジャカルタ、ブカシ、スラバヤのゴミ問題。分別収集は可能か。住民の意識調査結果収録。

2 0 1 9
Ibu kota terendam banjir – siapa sumber bencana. (Forum utama) Forum keadilan 10(43) Feb. 10, 2002: p.11-23
ジャカルタ以外の洪水には沈黙していた政府がジャカルタ大洪水でパニックに。人災か？

2 0 2 0
Yang tenggelam setelah air surut. (Laporan utama) Tempo 30(50) Feb. 17, 2002: p.20-31
ジャカルタ大洪水で問われる首都特別州の区画整理事業。グリーンベルトをビジネスセンターに転用したのが大洪水の一因か？

2 0 2 1
Ngaben – reformasi dalam sebuah prosesi. (Selingan) Tempo 30(50) Feb. 17, 2002: p.55-62, 64, 66-69
バリ島ヒンドゥー教徒の火葬儀礼のルポ。

2 0 2 2
Repotnya menjerat perusak alam. (Lingkungan) Forum keadilan 10(44) Feb. 17, 2002: p.29-32
環境法の確立の弱さを証明する数多くの森林破壊。環境大臣は環境破壊企業の告発を約束。

2 0 2 3
Kemerdekaan warga keturunan Cina – putusnya belenggu di leher sang naga. (Fokus) Forum keadilan 10(44) Feb. 17, 2002: p.37-117
スハルト体制期の30年の沈黙の後、自らの宗教、慣習、言語、芸術を主張し始めた中国系インドネシア人。各界の著名人の主張を収録。

2 0 2 4

Farid R. Faqih – “Pemerintah masih bisa menebus kesalahannya”. (Wawancara) Forum keadilan 10(44) Feb. 17, 2002: p.136-140
政府機関の汚職監視 NGO が首都洪水監視の詰め所を設立。同 NGO の代表に聞く。

2 0 2 5
Setelah sang naga bebas menari. (Layar) Tempo 30(51) Feb. 24, 2002: p.59-62, 64-65, 68-72, 74-75
「改革」の時代に入って華やかさを取り戻しつつある中国系住民の旧正月行事。

2 0 2 6
Program langit biru tersemprot asap knalpot. (Suplemen) Tempo 30(51) Feb. 24, 2002: p.79-80, 82, 84, 86
インドネシアの大都市に低公害車の導入ができない理由は何か。

2 0 2 7
Kala mendung menggantung. (Flash) Forum keadilan 10(45) Feb. 24, 2002: p.37-49.
ジャカルタ大洪水：5編の詩と多数の写真。

2 0 2 8
Vila liar para jenderal? (Laporan utama) Tempo 30(52) Mar. 3, 2002: p.20-26
ジャカルタの洪水を引き起こす元凶：避暑地ブンチャクにおける別荘開発。軍高官も所有。

2 0 2 9
Menjadi ramping dengan ramuan pelangsing. (Suplemen) Tempo 30(52) Mar. 3, 2002: p.79-80, 82, 84-85
痩身のための近代的飲料と伝統的飲料。

2 0 3 0
Bob Hasan – “Banyak yang curang, tapi dibiarkan saja”. (Wawancara) Forum keadilan 10(46) Mar. 3, 2002: p.62-66
汚職で受刑者となった元商工相ボブ・ハサンへのインタビュー記事。

2 0 3 1
Surga Bob Hasan di Nusakambangan.

(Selingan) Tempo 31(1) Mar. 10, 2002: p.63-66, 68-70
森林王ボブ・ハサンの監獄島での生活をルポ。特別待遇のなかで服役者たちの尊敬を集める。

2032
Kaum muda Kristen progresif mencari Tuhan – perlawanan mahasiswa Kristen pada gereja. (Forum utama) Forum keadilan 10(47) Mar. 10, 2002: p.11-23
大学キャンパス内で増加するプロテストント学生の礼拝集団。その教義、資金、ネットワークを探る。

2033
PK fiktif bebaskan terpidana. (Forum utama) Forum keadilan 10(48) Mar. 17, 2002: p.11-23
世界的に有名な2人の覚醒剤密売人が偽造判決により逃亡。内部の人間が関与か。

2034
Garis anak surga di tingkat pertama. (Hukum) Forum keadilan 10(49) Mar. 24, 2002: p.24-27
元中銀総裁に中央ジャカルタ地裁が懲役3年の判決。1999～2002年3月までの経緯。

2035
'Kerajaan' Tommy di penjara Cipinang – istana Tommy di Cipinang. (Laporan utama) Tempo 31(4) Mar. 31, 2002: p.20-25
トミー・スハルトのチピナン刑務所での優雅な生活ぶりをルポ。エアコン、個室浴室付の部屋で面会時間も自由に設定。

2036
Dor dari pistol lelaki berbadan tegap. (Forum utama) Forum keadilan 10(50) Mar. 31, 2002: p.11-23
ジャカルタで警察官を装った犯罪が多発。バイク車、さらには巨額の現金強奪の手口。

2037
VOC – kenyataan dan perbedaan sudut pandang. (Fokus) Forum keadilan 10(50) Mar. 31, 2002: p.35-47

オランダによる植民地支配の契機となった東インド会社の足跡を振り返る。

2038
Mencari jejak La Galigo. (iQra) Tempo 31(6) Apr. 14, 2002: p.69-72, 76-85
スラウェシの海洋民に古くから伝わる叙事詩ラ・ガリゴ。その長さはマハバーラタ以上。その魂を再現する行事を追う。写真16葉収録。

2039
Bahaya bergaya hidup modern. (Fokus) Forum keadilan 10(52) Apr. 14, 2002: p.39-51
様々な成人病の原因となる生活習慣を点検。

2040
Menuak kisah Marsinah. (Layar) Tempo 31(7) Apr. 21, 2002: p.59-64, 66-72, 74
1993年に惨殺された労働運動家マルシナを容疑者の目から描いた映画を公開。反応の数々。

2041
Negeri sarang candu – perang terhadap narkotik masih panjang. (Forum utama) Forum keadilan 11(1) Apr. 21, 2002: p.11-23
1日500億ルピアの売上げ相当分の合成麻薬を製造していた工場を警察が急襲。製造工場のネットワークはどうなっているのか。

2042
Orang-orang Bukit Duabelas. (Selingan) Tempo 31(8) Apr. 28, 2002: p.67-72, 74, 76, 78
ジャンビ州の森林資源の搾取で生活手段を失いつつある先住民。伝統薬の材料も枯渇。

2043
Nasib sial saksi-saksi Tommy Soeharto. (Forum utama) Forum keadilan 11(2) Apr. 28, 2002: p.11-23
トミー・スハルトの裁判で表面化した証人の安全確保の必要性。警察の取調報告への署名を行わなかったと証言し、警察が同証人を逮捕。

2044
Muhammad Sofjan Jacob – “Mungkin saya

dianggap kontroversial.” (Wawancara) Forum keadilan 11(2) Apr. 28, 2002: p.70-74

一時期ビマントロ前警察長官の後任と目された警察幹部へのインタビュー。

2045

Umar Kayam, sebuah perayaan tentang hidup. (iQra) Tempo 31(9) May 5, 2002: p.65-70, 72-73, 76-84

国民的作家ウマル・カヤムの生涯と代表的作品を振り返る。写真 17 葉収録。

2046

Potret perguruan tinggi pasca-akreditasi – pendidikan alternatif, pendidikan plus? (Info Tempo) Tempo 31(9) May 5, 2002: p.91-94, 96, 98-105

単位取得よりも教育の質を重視する各種教育コースに人気が集まる背景。

2047

Mbak Elza yang merepotkan para pengacara. (Forum utama) Forum keadilan 11(3) May 5, 2002: p.11-25

判事や証人を対象に贈賄を行った疑いがもたれるトミー・スハルトの弁護士。弁護士は司法マフィアの一部か？問われる職業倫理。

2048

Jika pangeran Cendana pelesir ke Cipinang. (Investigasi) Tempo 31(10) May 12, 2002: p.68-72, 74-77, 80, 82-86, 88

チピナン刑務所でのトミー・スハルトの生活をルポ。ビジネス上の指示、従業員の選抜も自由。夫人へのインタビュー記事収録。

2049

Elza Syarief – “Kalau diam, berarti Tommy mengakui.” (Wawancara) Tempo 31(11) May 19, 2002: p.38-40, 42

トミー・スハルト担当弁護士へのインタビュー。証人や判事への贈賄は本当か？

2050

Berkaca di punggung VOC. (Aksara) Tempo 31(11) May 19, 2002: p.57-60, 62, 64-72, 74-75

世界最初の株式会社だったオランダ東インド会社の様々な側面と足跡を検証。

2051

Heboh VCD *casting* porno. (Forum utama) Forum keadilan 11(6) May 26, 2002: p.11-25

9人の娘たちを撮影したポルノ VCD が出回り、当惑するバンドン市。同市製はなぜ人気があるか。若者の性と薬物乱用の実態をルポ。

2052

Evolusi lorong-lorong penghukuman. (Fokus) Forum keadilan 11(6) May 26, 2002: p.41-53

刑務所で特別待遇を受ける受刑者たち。その理由は何か？他の受刑者たちへの影響は？

2053

Di Nusa Dua, nasib bumi dibicarakan. (Lingkungan) Tempo 31(13) June 2, 2002: p.100-104, 106-109

バリ島で 189 カ国から 6000 人、NGO 代表 2000 人を集めて環境と持続的発展に関する会議を開催。エミル・サリム元環境相に聞く。

2054

Rumitnya menjadi WNI. (Forum utama) Forum keadilan 11(7) June 2, 2002: p.11-25

多くの中国系住民がインドネシア国籍取得を希望するものの、複雑な手続と法外な手数料で大量の待機者が発生。差別的法令をリスト化。

2055

Kalau pengarah gaya jadi tersangka. (Kriminalitas) Forum keadilan 11(7) June 2, 2002: p.38-45

浴用石けん広告モデル候補のポルノ VCD を製作した監督を逮捕。誰が市場に放出？。

2056

Henri Cartier-Bresson – saat-saat kudus di Indonesia. (Layar) Tempo 31(14) June 9, 2002: p.76-81, 84, 87-89

国立文書館が所蔵する一写真家の歴史的かつ美術的価値の高い写真の紹介。靈感の源は？

2057

Gurita gila pembajakan VCD. (Kriminalitas)
Tempo 31(15) June 16, 2002: p.112-114, 116
VCD, CD, カセットテープの海賊版販売で
大損害を被る製造元とインドネシア政府。その
急速な増加を示す各種統計を収録。

2058

Misteri mobil hakim agung (alm.) Syafiuddin.
(Forum utama) Forum keadilan 11(9)
June 16, 2002: p.11-23

シャフィウディン判事が殺害時に乗ってい
た車の所有者が判明。一企業家とトミー・ウィ
ナタ系企業グループの事件との接点は何か。

2059

Terbelenggu mitos sifon. (Selingan) Tempo
31(16) June 23, 2002: p.65-68, 70, 72, 74
割礼にまつわる西ティモールの一民族集団
アトニ・メトゥ人の奇習とその悪影響。

2060

Menelusuri jejak raja ekstasi – Ang Kiem
Soei *traffic*. (Forum utama) Forum
keadilan 11(10) June 23, 2002: p.11-23
合成麻薬エクスタシーの王、アン・キム・ス
イを逮捕。警察が彼を特別待遇する理由を探る。

2061

Menyusuri eksploitasi seks terhadap
anak-anak – belantara pasar seks anak
baru gede. (Forum utama) Forum
keadilan 11(11) June 30, 2002: p.11-22
小児性愛症者の犠牲になる児童たち。政府と
NGOは何を行い、児童保護法はいつ制定？

2062

Kongkalikong Tommy ditenggat sebulan.
(Laporan utama) Tempo 31(18) July 7,
2002: p.24-29
判事たちに当局と逃亡中に調整し合ったと
語ったトミー・スハルト発言の波紋。一体誰が
トミーを保護していたのか。

2063

Motivasi memotong-motong mayat. (Forum
utama) Forum keadilan 11(12) July 7,
2002: p.11-23
37歳の同性愛者が恋人をバラバラ殺人。な

ぜ残忍な殺人事件が何度も繰り返されるか。

2064

Seorang imam dalam dua wajah.
(Investigasi) Tempo 31(19) July 14, 2002:
p.59-66, 68-69, 72-74, 76-78

1999年に創立した東南アジアで最も近代的
で豪華なイスラム教育機関。その創立者とイス
ラム国家樹立運動との接点を探る。

2065

Teater gembong ekstasi – tiga bulan setelah
penggerebekan itu. (Forum utama)
Forum keadilan 11(13) July 14, 2002:
p.11-23

タンゲランの合成麻薬工場強制捜査とア
ン・キム・スイ逮捕後、鍵を握るとされるハン
ス・フィリップへのインタビューに成功。

2066

Jurus beres di persimpangan jalan. (Hukum)
Forum keadilan 11(13) July 14, 2002:
p.25-28

破産企業の管財処理を行う2組織が合法性
をめぐる対立。中央ジャカルタ地裁に提訴。

2067

Nasib arsip di negeri yang dipaksa lupa.
(Fokus) Forum keadilan 11(13) July 14,
2002: p.47-59

過去の大事件を記録した文書を守る方法を
考える。

2068

Yusril Ihza Mahendra – “Orang harus tahu,
asas *trias politica* itu tetap diterapkan”.
(Wawancara) Forum keadilan 11(13) July
14, 2002: p.70-74
司法人権相に犯罪・汚職対策と成果を聞く。

2069

Memburu Labah-Labah Merah dari
Pasundan. (Layar) Tempo 31(20) July 21,
2002: p.66-73, 76, 78, 80-83

「スパイダーマン」によく似ていた1970年
代の国産コミック「赤グモ」を再現・回顧する。

2070

Ironi desa Nambo – aroma busuk dari Cileungsi. (Forum utama) Forum keadilan 11(14) July 21, 2002: p.11-23

数百の住民が廃液加工物の影響で健康被害に？加工企業の株式の一部は環境相が所有。

2071

Pendidikan – pencetak Einstein secara alamiah, atau robot-robot. (Info Tempo) Tempo 31(21) July 28, 2002: p.94-96, 98

早期英才教育の是非をめぐる論争。

2072

Menguak borok-borok LSM kita – misteri “dana Sutiyoso” di tangan Irma Hutabarat. (Forum utama) Forum keadilan 11(15) July 28, 2002: p.11-23

ジャカルタ大洪水被害者援助金 42.5 億ルピアを配分しない NGO に批判の嵐。ステイヨン知事はなぜ NGO に資金を託したか。

2073

Lima belas tahun untuk satu nyawa. (Laporan utama) Tempo 31(22) Aug. 4, 2002: p.24-37

殺人の首謀者でありながら、わずか 15 年の刑を言いわたされたスハルトの 3 男。判決に対する識者の見解を収録。

2074

Mimpi buruk anak-anak negeri. (Selingan) Tempo 31(22) Aug. 4, 2002: p.55-58, 61-64, 66, 68

300 万人を超すインドネシアのストリート・チルドレン。その悲惨な状況をルポ。

2075

Tak ada larangan, ya ngebut saja! (Hukum) Forum keadilan 11(16) Aug. 4, 2002: p.24-27

被告人の同席なしに刑の判決を行った中央ジャカルタ地方裁判所。元最高裁判事に聞く。

2076

UU Perkawinan – kalau satu bahtera dua bendera. (Hukum) Forum keadilan 11(16) Aug. 4, 2002: p.28-31

国際結婚したインドネシア人妻とドイツ人

の夫が実子の奪い合い。法はどちらに味方？

2077

T. Gayus Lumbuun – “Pengadilan kita sekarang sama saja dengan gua hantu.” (Wawancara) Forum keadilan 11(16) Aug. 4, 2002: p.72-76

中国系住民の法意識を研究した一弁護士が警察関連法、1998 年破産法について語る。

2078

Tommy, sang pangeran terpidana. (Liputan khusus) Tempo 31(23) Aug. 11, 2002: p.34-36, 38-39

トミー・スハルトは上告の意思なし。胸の内に秘めた計画は何か？

2079

Amiruddin Zakaria – “Elza Syarif tidak pernah bertemu saya.” (Wawancara) Tempo 31(23) Aug. 11, 2002: p.42-46

トミー・スハルトに 15 年の刑を言い渡した判事へのインタビュー記事。その法的根拠は？

2080

Bau aparat dalam penggusuran di Cilandak. (Forum utama) Forum keadilan 11(17) Aug. 11, 2002: p.11-23

住民立ち退きを強行しようとした陸軍関係者 7 名を含む数 10 名のグループを警察が阻止。

2081

Dua surat sakti untuk satu sengketa. (Hukum) Forum keadilan 11(17) Aug. 11, 2002: p.25-29

ラマヤナ保険とスラバヤの 2 企業の紛争が紛糾しかねない最高裁の 2 種類の決議書。

2082

100 tahun Hatta – jejak-jejak yang melampaui zaman. (Liputan utama) Tempo 31(24) Aug. 18, 2002: p.26-43, 46-52, 54-55, 58-70, 72-85

モハammad・ハッタ生誕 100 周年記念記事。ハッタが辿った道を歴史的写真 50 枚で回顧。

2083

“Vonis” untuk tiga hakim kasus Manulife.

(Forum utama) Forum keadilan 11(18) Aug. 18, 2002: p.11-21

一企業の破産判決を言い渡した3人の判事が、停職処分にした大統領と司法人権相を告発。

2084

Toton Soeprapto – “Ada pergeseran kesadaran hukum masyarakat.” (Wawancara) Forum keadilan 11(18) Aug. 18, 2002: p.72-76

一最高裁判事がみる現在の司法界の問題点。

2085

Laporan dari Nusakambangan – ‘istana baru’ sang pangeran. (Laporan utama) Tempo 31(25) Aug. 25, 2002: p.24-32

ヌサカンバンガン島の刑務所に移送されたトミー・スハルトの生活環境は以前よりも快適？チピナン刑務所の服役者がボディガードを務め、ボブ・ハサンの部屋も近接。

2086

Rapor jaksa agung – suara keras mengganti jaksa agung. (Hukum) Tempo 31(25) Aug. 25, 2002: p.108-116

1年前に多くの期待を背負って最高検長官に就任したM.A.ラフマン。今、多くの案件が暗礁に。世論調査結果を収録。

2087

Terantuk harta gaib Prabu Siliwangi. (Laporan utama) Tempo 31(26) Sept. 1, 2002: p.24-30

古代遺跡保存地区にスカルノの「革命資金」が埋まっていると宗教相が発掘を命令。メガワティ大統領は激怒？

2088

Kekonyolan di situs Batu Tulis. (Forum utama) Forum keadilan 11(20) Sept. 1, 2002: p.11-23

パジャジャラン王国の財宝の獲得を目的に、宗教相が発掘させた事件の波紋。

2089

Polda Metro Jaya – Jakarta aman dan tenteram, kenapa tidak? Forum keadilan 11(20) Sept. 1, 2002: p.A-H

ジャカルタは安全な都市か？首都警察が抱える諸問題と2001年、2002年の犯罪統計。

2090

Siswo Budoyo, lakonmu kini. (Selingan) Tempo 31(27) Sept. 8, 2002: p.59-62, 64, 66-68

時代劇を演じる東ジャワの一劇団の歴史と現状を探る。

2091

Inses – dosa sedarah. (Fokus) Forum keadilan 11(21) Sept. 8, 2002: p.49-61

インドネシアにおける近親相姦と法。

2092

Menyulap teluk Jakarta. (Fokus) Forum keadilan 11(23) Sept. 22, 2002: p.49-60

ジャカルタ湾干拓がもたらす環境問題。

2093

Kekerasan dan polisi. (Fokus) Forum keadilan 11(25) Oct. 6, 2002: p.49-61

権限外の暴力行為が目立ち始めた警察。

2094

Gangguan jiwa – sebuah Indonesia yang sakit. (Kesehatan) Tempo 31(33) Oct. 20, 2002: p.92-97

増加する精神病と対処・治療法。

2095

Transaksi saham di “bom Menteng”. (Kriminalitas) Forum keadilan 11(27) Oct. 20, 2002: p.64-67

ジャカルタ、メンテン地区の爆弾事件の捜査で、株と借金が原因と判明。

2096

Awat, komik porno. (Fokus) Forum keadilan 11(28) Oct. 27, 2002: p.49-61

ポルノ的要素を多数含む漫画が流通し、社会問題に。書店だけでなくスーパーでも販売。

2097

Bau wangi penyebar petaka. (Lingkungan) Forum keadilan 11(29) Nov. 3, 2002: p.42-45

チルボン市の化学物質貯蔵庫の爆発火災事件。少なくとも 5000 キロリッターが燃焼。

2 0 9 8

Kekerasan dan perempuan. (Fokus) Forum keadilan 11(30) Nov. 10, 2002: p.47-59

レイプ、セクハラ、暴力、人身売買の犠牲になり続ける女性たち。解決策はあるのか？

2 0 9 9

Indonesia belum menyerah. (Laporan khusus) Tempo 31(37) Nov. 17, 2002: p.28-29, 31-65, 70-72, 74, 76-80, 83-84, 86

「英雄の日」の特集記事。奉仕精神が豊かで簡単に諦めない我々の周りの英雄達を紹介。

2 1 0 0

Geliat di bulan penuh rahmat. (Info Tempo) Tempo 31(37) Nov. 17, 2002: p.147-148, 152, 154, 156, 158-159

ラマダン特集。断食月を健康に過ごす方法。

2 1 0 1

Ke Frankfurt dan Edinburgh, merekam denyut buku. (iQra) Tempo 31(37) Nov. 17, 2002: p.163-166, 168-172, 174, 176

ヨーロッパとインドネシアのブックフェアはどこが違うか？インドネシアで本が軽視される理由は？

2 1 0 2

Datanglah paus, kau kutikam. (Selingan) Tempo 31(38) Nov. 24, 2002: p.64-73, 76, 78-81

東ヌサ・トゥンガラ州に伝わる鯨漁、解体後の分配方法。カラー写真多数収録。

2 1 0 3

Bisnis seks yang makin menggelinjang. (Forum utama) Forum keadilan 11(33) Dec. 1, 2002: p.11-24

衰えを知らない性風俗業。社会相に聞く。

2 1 0 4

Syariat Islam – syariat ketat cuma di kertas. (Nasional) Tempo 31(41) Dec. 15, 2002: p.22-27

イスラム装束をする女性が増え、イスラム法

の導入を望む自治体が増える背景を探る。

2 1 0 5

Yusuf Hasyim – “Pak Harto amat tidak layak diadili.” Tempo 31(41) Dec. 15, 2002: p.38-40, 42

著名なイスラム導師がスハルト元大統領との関係を語る。

2 1 0 6

Marawis di sebuah pesta. (Layar) Tempo 31(41) Dec. 15, 2002: p.63-70

割礼、婚姻、マホメット生誕日などの記念行事を彩るブタウィ音楽の紹介。

2 1 0 7

Meneropong reformasi hukum. (Forum khusus) Forum keadilan 11(34) Dec. 22, 2002: p.8-35, 38-53, 56-75, 82-91

法改革を振り返る。なぜ汚職はなくならないか？法改革プログラム・セクター別統計収録。

2003年 (社会、その他)

2108

Kaleidoskop 2002. (Hukum) Tempo 31(44) Jan. 5, 2003: p.98-101

2002年に下された汚職や人権侵害事件への判決。パプア人活動家殺害事件、タンジュン・プリオク事件などの判決に国民は納得したか？

2109

Nestapa negeri anarki – negeri elok yang menakutkan. (Forum khusus) Forum keadilan 11(35) Jan. 5, 2003: p.11-61, 66-75, 86-93

国家、役人、国民による国民への犯罪、ならびにジャカルタにおける犯罪の複雑さを紹介。

2110

Serbuan obat palsu makin menggila. (Liputan khusus obat palsu) Forum keadilan 11(35) Jan. 5, 2003: p.77-85

大量に流通する偽薬品。30-50%が偽物？偽造対象となった製品のリストを収録。

2111

Harmoko pada suatu masa. (Investigasi) Tempo 31(46) Jan. 19, 2003: p.59—66, 68-70, 72-74

スハルト時代に15年間ジャーナリズムの世界に君臨したハルモコ元情報相の権力と資金力を分析する。発行許可証取消の歴史。

2112

Bertaruh nyawa demi Napoleon. (Selingan) Tempo 31(47) Jan. 26, 2003: p.59-62, 64, 66-68, 70

ナポレオン・フィッシュを追い求める海の民：バジョ人。その生活を紹介。

2113

Pengadilan sesat di Aceh – dari balik jeruji Tanjung Gusta. (Hukum) Tempo 31(47) Jan. 26, 2003: p.92-99

真相解明とはほど遠い14年前の少年殺害事件。服役中のアブドゥラは無関与との証言も。

2114

Sumanto sang kanibal. (Laporan utama)

Tempo 31(48) Feb. 2, 2002: p.86-93

不死身の体になるため人肉を食べたスマント容疑者。行方不明の言語・知能障害者たちも彼の餌食に？背景にある呪術を信じる風土。

2115

Gonjang-ganjing Jagat Jawa. (Selingan) Tempo 31(49) Feb. 9, 2002: p.59-62, 64, 66-70

仏教徒の聖地ボロブドゥール寺院の区画整理事業に反対の物売り達。寺院の美観も損なう？

2116

Berhaji mumpung bareng Hamzah. (Laporan utama) Tempo 31(50) Feb. 16, 2003: p.28-35

反政府デモが収まらない中、副大統領の一族郎党107人がメッカ巡礼に。危機感の欠如に各界から批判の声。大部分が公用旅券使用。

2117

Lonceng perang di Porsea. (Ekonomi & bisnis) Tempo 31(50) Feb. 16, 2003: p.103-106

数々の環境破壊問題を引き起こしたインドレーヨン社が名前を変えて営業再開。住民は一斉に反発。過去の出来事を年表化して収録。

2118

Menjenguk film-film horor Indonesia – dari Babi Ngepet hingga Jelangkung. (Layar) Tempo 31(51) Feb. 23, 2003: p.69-83

インドネシアのホラー映画の系譜。1930年代以降の変化と特質。

2119

Keajaiban di bukit gersang. (Selingan) Tempo 31(52) Mar. 2, 2003: p.67-73, 76, 78, 80-81

インドネシアでも増えるサイ・ババ信奉者。ジャカルタ、バリ、バンドン、メダンに祈禱所。

2120

Kebakaran – “Ada Tomy di Tanabang?” (Nasional) Tempo 32(1) Mar. 9, 2003: p.30-33

タナ・アバン市場の大火事。トミー・ウィナタが得た530億ルピアの改良事業と関係？

2 1 2 1

Tarik-ulur lahirnya kota air. (Lingkungan)

Tempo 32(1) Mar. 9, 2003: p.98-101

環境担当国務大臣はジャカルタ北海岸の干拓プロジェクト継続を禁止。一方ジャカルタ首都特別州政府は継続の意向。環境は更に悪化？

2 1 2 2

Mengukur keseriusan pemerintah memberantas narkoba. Forum keadilan 11(44) Mar. 9, 2003: p.11-24

副大統領の息子が薬物所持の疑いで逮捕？
1998-2002 年の薬物関連事件統計を収録。

2 1 2 3

Pembangkit gairah di sepanjang jalan. (Selingan) Tempo 32(2) Mar. 16, 2003: p.67-70, 72, 74, 76-81

大都市で店舗が増えるセックス・ショップの様々な器具と薬品の紹介。

2 1 2 4

Kekerasan di sekitar kita – kembali ke zaman jahiliyah? (Laporan utama) Tempo 32(3) Mar. 23, 2003: p.26-30, 32-37

テンポ誌の報道に対して反抗勢力がデモ。数名のジャーナリストが怪我。識者は同事件をどうみたか。トミー・ウィナタの意見も収録。

2 1 2 5

Peter Eigen – “Indonesia nomor 96 dari 100 negara dalam indeks persepsi.” (Wawancara) Tempo 32(3) Mar. 23, 2003: p.44-46, 48

汚職認知指数で 100 カ国中、下から 5 番目に位置づけられたインドネシア。同調査を実施した機関の議長へのインタビュー記事。

2 1 2 6

Dari kesaksian para sastrawan. (iQra) Tempo 32(3) Mar. 23, 2003: p.63-66, 68-70, 72, 74-75

ロシア文学をたどることでみえてきたインドネシア像。

2 1 2 7

Mahkamah Syaria'ah -- awal Indonesia

menuju negara Islam. (Forum utama) Forum keadilan 11(46) Mar. 23, 2003: p.11-25

インドネシア政府がアチェ州にイスラム法に基づく裁判所を設立。分離運動は沈静化へ？

2 1 2 8

Pena versus preman. (Fokus) Forum keadilan 11(46) Mar. 23, 2003: p.47-59

報道機関に対する暴力はなぜ起こるか。その種類、月別発生件数、テンポ社襲撃などを収録。

2 1 2 9

Anton Medan – “Kapolda pun nggak berkutik.” (Wawancara) Forum keadilan 11(46) Mar. 23, 2003: p.83-86

元ヤクザの華人がテンポ社襲撃事件、トミー・ウィナタと権力との関係を語る。

2 1 3 0

Selamat datang di negeri dangdut. (Fokus) Forum keadilan 11(47) Mar. 30, 2003: p.47-59

イスル人気でダンドゥット音楽番組が目白押し。民放。激しい腰振りパフォーマンスの意味。

2 1 3 1

Tjandra Yoga – “Sembilan puluh persen pasien SARS bisa disembuhkan.” (Wawancara) Tempo 32(6) Apr. 13, 2003: p.[46]-48, 50

肺の専門医がサルス（重症急性呼吸器症候群）予防法を語る。

2 1 3 2

SARS – dari Guangdong ke empat benua. (Kesehatan) Tempo 32(6) Apr. 13, 2003: p.120-128

サルスが発症する仕組み、社会・経済への影響をレポート。

2 1 3 3

Madame de Syuga beraksi lagi. (Hukum) Forum keadilan 11(49) Apr. 13, 2003: p.25-28

デヴィ・スカルノがジャカルタの一等地の土地所有権問題でアルタ・グラハ系 3 社を告発。

2 1 3 4

Secercah harapan dari reformasi lembaga penegak hukum. (Info Tempo) Tempo 32(7) Apr. 20, 2003: p.81-85

汚職のない司法機関へと体質改善をはかるには何が必要か？その戦略を探る。司法、裁判制度に対する世論調査結果を収録。

2 1 3 5

Hutan – emas hijau meradang. (Fokus) Forum keadilan 11(50) Apr. 20, 2003: p.47-59

各地で消滅する森林資源。電気ソーに代表される近代性と古来の智慧の共存は不可能か？

2 1 3 6

Merananya ‘Jurassic Park’ kita. (Selingan) Tempo 32(8) Apr. 27, 2003: p.71-74, 76-77, 80-82, 84-85

コモド大トカゲの生態と住民の生活。鹿狩りで餌が減少？写真多数。

2 1 3 7

Di Larantuka, Maria berdukacita. (Selingan) Tempo 32(9) May 4, 2003: p.71-76, [78]-87

東フローレスの港町で400年の間行われてきたポルトガル色の強い復活祭行事。写真多数。

2 1 3 8

Pendidikan – berburu kampus favorit. (Info Tempo) Tempo 32(9) May 4, 2003: p.[91]-[96], 98, 100, 102

さまざまな新規学位取得コースを売り物にする国内の大学。教育保険・貯金も多様。

2 1 3 9

Sriwedari meniti sepi. (Selingan) Tempo 32(10) May 11, 2003: p.75-81, 84-86

ワヤン・ウオン、クトブラックなどの伝統舞台芸能が廃れていくソロの町。観客が集まらず、役者は兼業が当たり前。写真多数収録。

2 1 4 0

Rhoma Irama – “Dia lokomotif Inulisasi.” (Wawancara) Forum keadilan 12(1) May 11, 2003: p.22-26

イスルのダンドゥットは音楽ではなく、性犯罪を誘発する恐れがあると語るダンドゥット音

楽の帝王ロマ・イラマへのインタビュー記事。

2 1 4 1

Moral bangsa di bokong Inul. (Fokus) Forum keadilan 12(1) May 11, 2003: p.27-33

イスラム団体やロマ・イラマらの批判がイスルのファンの同情心を燃え上がらせた？公演のボイコットは裁判沙汰に発展？

2 1 4 2

5 tahun reformasi. (Media) Tempo 32(12) May 25, 2003: p.94-99

5年間の「改革」の時代にマスメディアはどれほど解放されたか。民放の支配構造も変化。

2 1 4 3

5 tahun reformasi. (Hukum) Tempo 32(12) May 25, 2003: p.104-121

「改革」の時代も一向に減らない汚職。政・財・司法界の主立った贈収賄事件を紹介。

2 1 4 4

Lingkungan – ketika alam tak lagi bersahabat. (Info Tempo) Tempo 32(12) May 25, 2003: p.177-181, 183-184, 186, 188-189

総合的対応が必要な環境対策。森林破壊によって洪水、土砂崩れが多発。追放される森の民。

2 1 4 5

Menelisik “mafia” peradilan kawin cerai. (Forum utama) Forum keadilan 12(5) June 8, 2003: p.9-18

セレブだけでなく、政府高官にも広がってきた離婚。一方で、期限付き結婚は合法か？

2 1 4 6

Mahkamah khusus para koruptor – sebuah penantian. (Fokus) Forum keadilan 12(5) June 8, 2003: p.27-35

司法への信頼が薄れるなか、国家法律委員会が汚職専門の裁判所設立を提案。

2 1 4 7

RUU Sistem Pendidikan Nasional – ganjalan dua pasal. Tempo 32(15) June 15, 2003: p.52-59

国会合議を待つ国民教育システム法法案。教育の基本精神をめぐる対立は克服できるか？

2 1 4 8

Community development -- pengembangan masyarakat, tak bisa basa-basi. (InfoTempo) Tempo 32(15) June 15, 2003: p.87-94

先住民と地域社会の発展。多くの外資系企業がその発展に協力。

2 1 4 9

Senja kala rimba raya. (Lingkungan) Tempo 32(16) June 22, 2003: p.52-54, 57
森林保護と国立公園管理の実態。

2 1 5 0

Masa lalu yang retak. (Layar) Tempo 32(16) June 22, 2003: p.66-72, 74, 76-80, 82-85
破壊と発掘による発見を繰り返すヒンドゥー、仏教寺院等の考古学遺産。寺院で靈感を得ようとする芸術家たち。

2 1 5 1

Dijual – orok Indonesia. (Investigasi) Tempo 32(17) June 29, 2003: p.67-73, 76, 78, 80, 82
マレーシア国境で1万から2万5千リングットで売買されるインドネシアの乳児。

2 1 5 2

Kuliah makin mahal, PTN mau ke mana? (Forum utama) Forum keadilan 12(8) June 29, 2003: p.9-15
大学自治の進展により、各大学の諸経費が高騰。その背景を探る。

2 1 5 3

Sayup-sayup suara tayub. (Selingan) Tempo 32(18) July 6, 2003: p.75-78, 80, 82-84, 86, 88-89
年々廃れていくジャワ舞踊「タユバン」の歴史と現在を探る。いまだに愛好者が残る中部ジャワのブロラとパティの様子。

2 1 5 4

Tommy mau peninjauan kembali. (Laporan utama) Tempo 32(20) July 20, 2003:

p.112-116, 118-120

再審請求のためチラチャップ地方裁判所に
出廷したトミー・スハルト。15年の懲役刑を
軽減化する新しい13の証拠とは何か？

2 1 5 5

Bisnis “darah” di televisi. (Forum utama) Forum keadilan 12(11) July 20, 2003: p.9-17
多くの視聴者が好む犯罪ルポ番組の暴力性と残忍性。道徳・倫理上の問題はないか？

2 1 5 6

Mendaras doa di ruang tua. (iQra) Tempo 32(22) Aug. 3, 2003: p.75-89
ジャカルタに点在する教会、モスク、孔子廟の歴史を写真で紹介。

2 1 5 7

Bisnis dan maut di Asaba – tudingan setelah dor. (Laporan utama) Tempo 32(22) Aug. 3, 2003: p.116-124, 126-127
アサバ社取締役とそのボディガード殺害事件で取締役の甥に疑惑の目が。以前に殺害された人物は甥の汚職を告発していた。

2 1 5 8

Pembunuh terlatih menghabisi pengusaha. (Forum utama) Forum keadilan 12(13) Aug. 3, 2003: p.9-16
企業家殺害事件と雇われ殺し屋。使われた武器は国軍使用のもので、容疑者は逃走中。

2 1 5 9

Sejuta trauma orang Wana. (Selingan) Tempo 32(23) Aug. 10, 2003: p.67-70, 72, 74-78
中スラウェシ州のモロワリ森林地帯に居住するワナ人の独自の信仰、風習、社会規約。

2 1 6 0

Teknologi informasi – senjakala di surga kaum pembajak. Tempo 32(23) Aug. 10, 2003: p.84-96
著作権保護を謳った2002年法律第19号の施行でCD,VCDの違法複製は防げるか？

2 1 6 1

Sekali lagi mencoba melawan pembajak.
(Forum utama) Forum keadilan 12(14)
Aug. 10, 2003: p.9-15
2002 年制定の著作権法が発効。VCD、CD、
DVD 他、海賊版を減らすことができるか？

2 1 6 2

Prof. Abdul Bari Ased SH—“Saya yakin
lambat laun pembajakan bisa dikurangi.”
(Wawancara) Forum keadilan 12(14) Aug.
10, 2003: p.16-21
司法人権省知的財産権総局局長へのインタ
ビュー記事。不法コピー防止対策を語る。

2 1 6 3

‘Ayam bersepatu’ di negeri sakura. (Selingan)
Tempo 32(24) Aug. 17, 2003: p.67-70, 72, 74,
76
ヤクザに騙され、日本の風俗業界で働かされ
ているインドネシア女性の実態。

2 1 6 4

Marimutu Manimaren – akhir kisah tragis
itu. (Laporan khusus) Tempo 32(24) Aug.
17, 2003: p.114-118, 120-127
ホテル・アストン 56 階から飛び降りた元テ
クスマコ・グループ重役の死が意味するもの。

2 1 6 5

Perdagangan yang tak terbaca. (Fokus)
Forum keadilan 12(15) Aug. 17, 2003:
p.25-30
インドネシアにおける人身売買の現状。

2 1 6 6

Mati terempas di negeri singa. (Investigasi)
Tempo 32(26) Aug. 31: p.63-70, 72-74
シンガポールで続くインドネシア人家政婦
の死亡事件。大部分が事故死で一部が自殺と公
表されたが、一部は殺害された疑いも濃厚に。

2 1 6 7

Krakatau – ledakan yang mengubah dunia.
(iQra) Tempo 32(28) Sept. 14, 2003: p.
75-84, 86-88
クラカタウ山の大噴火が引起した社会、宗教
面への影響。120 年後の島の様子を写真で解説。

2 1 6 8

Joget – Kebayoran sampai Kota. (Gaya
hidup) Tempo 32(29) Sept. 21, 2003: p.
46-49
ジャカルタやバンドンで急速に増えるディ
スコ風ダンスクラブ。

2 1 6 9

Tertangkapnya Gunawan Santosa – jejak
petualangan bekas menantu. (Laporan
utama) Tempo 32(29) Sept. 21, 2003:
p.108-110, 112-113, 115-116
アサバ社取締役とそのボディガード殺害事
件で顔を整形して逃走中だった主犯を逮捕。

2 1 7 0

Penganiayaan di STPDN – pelajaran dari
sekolah camat. (Pendidikan) Tempo
32(29) Sept. 21, 2003: p.118-122, 124-126
スメダンの内務行政官養成単科大学で起こっ
た新入生リンチ殺人事件。問われる軍隊式教育。

2 1 7 1

Siksa di Jatinangor – sekolah praja salah
asuhan. (Laporan utama) Tempo 32(31)
Oct. 5, 2003: p.24-30, 32-36, 38, 40-41
ビデオ録画が明らかにした西ジャワ州ジャ
ティナンゴル内務行政官養成単科大学の先輩
後輩間暴力の実態。元学生や内務省の声。

2 1 7 2

Sutrisno – “Saya belum pernah melihat
kekerasan di STPDN”. (Wawancara)
Tempo 32(31) Oct. 5, 2003: p.50-52, 55
学内のリンチ殺人事件で解雇された内務行
政官養成単科大学学長へのインタビュー。

2 1 7 3

Pesta besar di tepi Mahakam – Festival Erau
2003. Tempo 32(31) Oct. 5, 2003:
p.[148]-[151]
クタイ・カルタヌガラ県で催されたダヤック
人の祭り。将来、観光客は増加？写真 7 葉収録。

2 1 7 4

Delapan aib di dalam kotak. (Nasional)
Tempo 32(32) Oct. 12, 2003: p.24-26, 28-29
内務省は内務行政官養成単科大学(STPDN)

と行政専門大学(IIP)を合併する意向。合併後に前者に巣食う汚職や暴力はなくなるか？

2 1 7 5

RUU KUHP – Cetita di balik pasal-pasal aneh. (Hukum) Tempo 32(32) Oct. 12, 2003: p.38-44, 46-47

呪術、不倫、同棲を罰する新刑法法案が呼び起こした論争。非民主的で個人の権利を奪う条文への批判やイスラム法の影響を指摘する声。

2 1 7 6

Penculikan 10 anak – akhir kegilaan si Buntung. (Kriminalitas) Tempo 32(32) Oct. 12, 2003: p.102-104, 106, 108-110, 112, 114

幼児誘拐の疑いでトニ・ブントウン家族をチャップで逮捕。狂気と放浪の道程が明らかに。

2 1 7 7

Sebuah rancangan yang menuai kontroversi. (Forum utama) Forum keadilan 12(23) Oct. 12, 2003: p.9-19

イスラム法の影響が強い司法・人権省の刑法改正草案。一部のムスリムの利益を反映？

2 1 7 8

Dr. Ir. Siti Nurbaya Bakar, MSc. – “Kami hentikan semua kegiatan yang berindikasi kekerasan.” (Wawancara) Forum keadilan 12(23) Oct. 12, 2003: p.20-27

内務行政官養成学校で発生した暴力事件で組織の再編を目指す内務次官へのインタビュー。

2 1 7 9

Menuju Bali dari dua jurusan. (Sosial budaya) Tempo 32(33) Oct. 19, 2003: p.102-106, 108, 110-116, 118-130, 132-134, 136-138

爆弾テロ後、バリ住民の生活はどう変わったか。バリ在住文化人、芸術家、NGO 活動家たちが語るテロ後のバリ。

2 1 8 0

Musim gusur di Jakarta. (Fokus) Forum keadilan 12(24) Oct. 19, 2003: p.27-33

不法占拠者の住宅取り壊しと当局への住民の抵抗。子供たちの心の傷はどう癒すのか。

2 1 8 1

Arwan, sopir bus maut Situbondo – “Saya melihat tangan-tangan menempel di kaca”. (Wawancara) Tempo 32(34) Oct. 26, 2003: p.46-48, 50

トレーラーとの衝突後のバス火災で 54 人が焼け死んだ惨事をバスの運転手が振り返る。

2 1 8 2

Meningkatkan kecerdasan emosional anak. (Fokus) Forum keadilan 12(25) Oct. 26, 2003: p.27-33

こころの知能指数(EQ)を伸ばす方法はあるか。インドネシアの幼稚園での取り組みを紹介。

2 1 8 3

Bahasa penguasa senjata. (Fokus) Forum keadilan 12(26) Nov. 2, 2003: p.27-33

「青年の誓い」後の国語の発展を振り返る。6 分野から選ばれた国語の最高話者は誰か。

2 1 8 4

Si rambut landak ogah membebek. (Gaya hidup) Tempo 32(36) Nov. 9, 2003: 54-57

若者の間で流行するパンク文化。

2 1 8 5

Balada lokomotif yang terseok (Selingan) Tempo 32(36) Nov. 9, 2003: p.71-74, 76, 80-83

民主化の原動力として 33 年間活動してきたインドネシア法律擁護機関財団の歴史と経営危機の現状。

2 1 8 6

Mencari komandan jihad antikorupsi. (Forum utama) Forum keadilan 12(27) Nov. 9, 2003: p.7-17

513 名の応募者のうち汚職撲滅委員会議長候補者として 223 名を選出。誰が本命か？

2 1 8 7

Menikmati lelucon bermakna. (Fokus) Forum keadilan 12(27) Nov. 9, 2003: p.27-33

ラマダン月に信仰心を高める 25 の小話。

2 1 8 8

Sekte Gereja Kiamat – kiamat Rasul Paulus dari Bale Endah. (Agama) Tempo 32(38) Nov. 23, 2003: p.38-42
一プロテスタント教派の牧師が世界の終わりを予言。12 人が宗教冒涇罪で容疑者に。

2 1 8 9

Islam lokal, Islam minoritas. (Layar) Tempo 32(38) Nov. 23, 2003: p.61-64, 66-68, 72-74, 76-78, 80, 82-83
写真家たちが撮った墓参りするジャワ、マドゥラのムスリム達、イスラム寄宿舎を中に抱える売春窟、ロンドンの周縁化したムスリム達。

2 1 9 0

Menunggu Tuhan mengangkat ke langit. (Forum utama) Forum keadilan 12(28) Nov. 23, 2003: p.9-19
この世の終わりの託宣を得たものの、何も起こらず、警察に逮捕されたプロテスタントの一団体。その指導者へのインタビュー記事収録。

2 1 9 1

Sekte Gereja Kiamat – atas nama 'bisikan Tuhan'. (Agama) Tempo 32(39) Nov. 30, 2003: p.24-33
世界の滅亡を教義にするプロテスタントの一セクトが多額の金を信徒から徴収。セクトの全国分布図とシブエア牧師へのインタビュー。

2 1 9 2

Dan kematian semakin akrab. (Selingan) Tempo 32(39) Nov. 30, 2003: p.87-90, 92, 94-97.
各地の刑務所における死刑囚の生活の実態。1988 年以降の死刑囚名、罪状、裁判所名、ステータス(上告中、恩赦請求、執行待)のリスト。

2 1 9 3

Kuota haji ONH plus – Alex Komang pun kesandung kuota. (Laporan utama) Tempo 32(40) Dec. 7, 2003: p.24-26, 28-33
入金済みの 7 千人のメッカ巡礼予定者が定数枠から除外？宗教相を行政裁判所で裁くよう要求。毎年繰り返される事件の背景を探る。

2 1 9 4

Bergerak bersama dunia imajinasi bernama animasi. (Layar) Tempo 32(41) Dec. 14, 2003: p.55-58, 60, 62-64, 66, 68-72, 74-75
日本と米国のアニメーションの大量流入に国内のアニメ映画界はどう戦略を立てるか？

2 1 9 5

Lembaga “ompong” anti korupsi. (Fokus) Forum keadilan 12(29) Dec. 14, 2003: p.55-63
始まった汚職撲滅委員会指導部の人選。

2 1 9 6

Erry Riyana Hardjapamekas – 80 persen pegawai negeri melakukan korupsi. (Wawancara) Forum keadilan 12(30) Dec. 21, 2003: p.70-74
汚職撲滅委員会議長候補へのインタビュー。「公務員の 80%が汚職に手を染めている」。

2 1 9 7

Noegroho Djajoesman – “Polisi itu bukan keranjang sampah.” (Wawancara) Forum keadilan 12(31) Dec. 28, 2003: p.74-77
早期退職勧告に反発し、行政裁判所で勝訴した警察幹部へのインタビュー記事。

2004年 (社会、その他)

2198

Tahun ini masih juga bernama tahun teror dan korupsi. (Hukum) Tempo 32(44) Jan. 4, 2004: p.144-150, 152, 154

バリ島爆弾テロ事件の裁判、トミー・ウィナタのテンポ社告発、アサバ・グループトップの殺害、学校暴力、汚職関連事件等を振り返る。

2199

Karena kita mengabaikan irama alam. (Ilmu & teknologi) Tempo 32(44) Jan. 4, 2004: p.162-166, 168, 170-171.

2003年に生じた環境破壊が原因の災害、SARS感染症、有名人の自殺等を振り返る。

2200

Taufiequrachman Ruki – “Korupsi tidak boleh dikompromikan”. (Wawancara) Tempo 32(44) Jan. 4, 2004: p.204-206, 208
汚職根絶委員会議長に就任した元警察高官に同委員会の取組みを聞く。

2201

Kisah hutan yang dikhianati. (Selingan) Tempo 32(45) Jan. 11, 2004: p.61-65, 68, 70-73.

環境と生態系への配慮、社会・文化と経済的影響の十分な分析なしに進行するアチェ横断道路建設計画。

2202

Lotere gaya baru – setelah lotere Melayu terkuak. (Laporan utama) Tempo 32(47) Jan. 25, 2004: p.26-32, 34-39

マレーシアの民間企業とインドネシア・スポーツ協会が共同企画した懸賞くじ。インドネシア・ウラマ・協議会はどう反応するか？

2203

Menggantung harap di kanal timur. (Lingkungan) Tempo 32(47) Jan. 25, 2004: p.[84]-87

ジャカルタの洪水防止用運河の歴史と将来の活用計画。

2204

Dr. Taufik Kamil – “Swasta tidak siap menyelenggarakan haji.” (Wawancara) Forum keadilan 12(34) Jan. 25, 2004: p.74-79

宗教省・イスラム社会指導・メッカ巡礼実施総局長に聞く。民間への委託は不必要か。

2205

Pertaruhan baru di lahan gambut. (Investigasi) Tempo 32(48) Feb. 1, 2004: p.67-[80]

100万ヘクタールの森林を水田化するプロジェクトの悲惨な結末。生態系の破壊と地域住民の貧困化を生んだ原因を再調査する。

2206

Tomy Winata vs Tempo, perang tiada akhir. (Forum utama) Forum keadilan 12(35) Feb. 1, 2004: p.11-21

コラン・テンポ紙を訴えたトミー・ウィナタにジャカルタ地方裁判所が勝訴判決。裁判所はマスコミ法を無視し、マフィア組織に味方？

2207

Lotere hidup lagi? (Fokus) Forum keadilan 12(35) Feb. 1, 2004: p.47-59

スポーツを対象にした賭博が横行するインドネシア。胴元の売上げは数兆ルピア規模？

2208

Seorang sahabat bernama Kahin. (iQra) Tempo 32(49) Feb. 8, 2004: p.87-94, 96, 98, 100-101

インドネシア研究家 G.M.カーヒンの足跡を辿る。写真13葉収録。

2209

Negeri yang tercakar flu burung. (Laporan utama) Tempo 32(49) Feb. 8, 2004: p.104-112

半年前から兆候が窺われた鳥インフルエンザが現実化し、大量の鶏を処分。感染を恐れた消費者の買い控えで仲買人にも打撃。

2210

Seks bebas anak jalanan Bandung. (Forum utama) Forum keadilan 12(36) Feb. 8, 2004: p.11-22

ストリート・チルドレンたちの性の実態。

2 2 1 1

“Si Kelor Ijo” – antara mistis sensasi, dan politis. (Fokus) Forum keadilan 12(36) Feb. 8, 2004: p.47-59

緑色の短パンだけを身につけた妖怪に女性が多数襲われたという噂が急速に蔓延。その社会的、心理的背景を探る。

2 2 1 2

Musibah di seputar tugu Aqabah. (Fokus) Forum keadilan 12(37) Feb. 15, 2004: p.49-59

メッカ巡礼中に数百万の巡礼者が儀礼場に殺到し、踏みつけられて 251 人が死亡。その内 54 人がインドネシア人。対策はあるのか？

2 2 1 3

Abdul Rahman Saleh – “Ini kisah rekaan”. (Wawancara) Tempo 32(51) Feb. 22, 2004: p.106-110

最高裁判事 5 名のうち一人だけアクバル・タンジュンの有罪を主張した判事が法廷審議の経過、判決の背景、裁判システム等を語る。

2 2 1 4

Sukma Rohaye Ayu dan foto-foto porno itu. (Forum utama) Forum keadilan 12(38) Feb. 22, 2004: p.11-24

インターネット上に女性人気アーティストたちのポルノ映像が流出。警察の捜査状況は？

2 2 1 5

Akbar bebas euy. (Hukum) Forum keadilan 12(38) Feb. 22, 2004: p.26-29

最高裁がアクバル・タンジュン国会議長・ゴルカル党党首に無罪判決。地裁で有罪判決を言い渡した裁判官は引退を決意？

2 2 1 6

Mahkamah (yang tak) Agung – runtuhnya benteng keadilan. (Fokus) Forum keadilan 12(38) Feb. 22, 2004: p.49-61

「改革」の時代に入っても自立できない最高裁判所。行政府の介入で汚職・癒着・縁故主義が蔓延。浄化には何が必要か。

2 2 1 7

Amiruddin Zakaria – “Mahkamah Agung melakukan contempt of court”. (Wawancara) Tempo 32(52) Feb. 29, 2004: p.38-41

アクバル・タンジュン国会議長の 400 億ルピア収賄疑惑事件で被告数名に有罪判決を下した地裁裁判官は最高裁判決をどうみるか。

2 2 1 8

Manipulasi di jalur ibadah. (Investigasi) Tempo 32(52) Feb. 29, 2004: p.53-58, 60-69
メッカ巡礼関連予算数百億ルピアの使途に疑念が噴出。宗教相インタビュー記事収録。

2 2 1 9

Demam berdarah – mimpi buruk yang terus berulang. (Laporan utama) Tempo 32(52) Feb. 29, 2004: p.96-106

デング熱の大流行。既に 16 州で 190 人が死亡。蚊の駆除法、デング熱治療のうそと真実。

2 2 2 0

Kala sang raja mucikari mulai insaf. (Forum utama) Forum keadilan 12(39) Feb. 29, 2004: p.49-61

性産業界に君臨する実業家ハルトノ。そのビジネスの実態をルポ。賭博王トミー・ウィナタとの間にトラブル発生？

2 2 2 1

Zikir untuk negeri yang sulit. (Forum utama) Forum keadilan 12(40) Mar. 7, 2004: p.11-23

イスラム暦新年（ムッハラーム月 1 日）にジャカルタのイスティクル大モスクで開かれた祈祷集会のルポ。祈祷師がその意義を語る。

2 2 2 2

Tiang gantungan menunggu di Singapura. (Forum utama) Forum keadilan 12(42) Mar. 21, 2004: p.11-23

シンガポールで雇い主やその子供を殺害したかどで絞首刑判決を受けた 5 人のインドネシア人海外労働者。正当防衛の可能性も。

2 2 2 3

Ketuk palu perpu semar. (Lingkungan)

Tempo 33(4) Mar. 28, 2004: p.90-[93]

法律に代わる政令 2004 年第 1 号の公布により、13 企業が自然保護林内の採掘許可を獲得。同政令は自然保護への脅威となるか？

2 2 2 4

Malpraktek – jangan lagi hanya diam. (Kesehatan) Tempo 33(4) Mar. 28, 2004: p.[96]-98, 100, 102-106

後を絶たない医療ミスによる犠牲者。インドネシア医師連盟は医師を裁く独立機関の設置を提案。

2 2 2 5

Mengapa hutanku hilang... (Info Tempo) Tempo 33(5) Apr. 4, 2004: p.91-96

違法伐採で減り続ける森林面積。被害総額は年間 30 兆ルピア。スマトラとカリマンタンの低地の森林は 2005 年と 2010 年に消滅？

2 2 2 6

Bagi mereka, seks sesama jenis adalah kodrat. (Forum utama) Forum keadilan 12(45) Apr. 18, 2004: p.11-23

世界の同性間婚姻とインドネシア人のゲイおよび婚姻登録改革 NGO 幹部の意見。

2 2 2 7

Prof. Dr. Din Syamsuddin – “Tidak ada satu agama pun yang membenarkan homoseksual.” (Wawancara) Forum keadilan 12(45) Apr. 18, 2004: p.24-27

インドネシア・ウラマ協議会事務局長が同性間婚姻を批判したインタビュー記事。

2 2 2 8

Situs Buni terbenam minyak. (Selingan) Tempo 33(8) Apr. 25, 2004: p.63-66, 72-74, 76

原油採掘により徐々に破壊されていくタルマヌガラ王国の遺跡。考古学者たちが反抗。

2 2 2 9

Rindu Tuhan di negeri seberang. (Selingan) Tempo 33(9) May 2, 2004: p.67-75

インドネシア語が使用され、家族的交流が続くメルボルンの教会。インドネシア人キリスト教徒移民者は同市だけで 6000 人に増加。

2 2 3 0

Menangkal industri nakal, tanpa meja hijau.

(Info Tempo) Tempo 33(9) May 2, 2004: p.83-[89]

環境基準遵守企業は増加したか？5 段階別企業評価リスト、環境相インタビュー収録。

2 2 3 1

Lampu merah aborsi. (Fokus) Forum keadilan 13(1) May 2, 2004: p.47-59

未成年が 2～3 割を占める人工妊娠中絶と法。

2 2 3 2

Generasi terbaru novelis kita – antara Marrakesh, Moskow, dan Spinoza. (iQra)

Tempo 33(10) May 9, 2004: p.63-66, 68-76

現代インドネシア女性文学者と作品の紹介。

2 2 3 3

Setelah kebrutalan polisi di Makassar.

(Laporan utama) Tempo 33(11) May 16, 2004: p.24-34

マカッサルの大学構内で生じた警察官の暴力事件。全国で警察長官辞任を求めるデモ。

2 2 3 4

Taman bermain berbintang lima.

(Pendidikan) Tempo 33(11) May 16, 2004: p.50-56

鰻上りの幼稚園納入費。園別、費目別年間納付費用のリスト収録。

2 2 3 5

Kapolda dicopot, Kapolri tak mundur.

(Forum utama) Forum keadilan 14(3) May 16, 2004: p.11-20

マカッサルのインドネシア・ムスリム大学の事件など相次ぐ警察の暴力行為。地方の警察長を処分で十分か？警察長官はお咎めなし。

2 2 3 6

Terancam kesaksian sendiri. (Hukum)

Tempo 33(13) May 30, 2004: p.94-97

自らが否定したインタビュー記録の声紋検査の結果で追いつめられるトミー・ウィナタ。原告と被告であるテンポとの間の判決記録。

2 2 3 7

Eva Joly – “Masih ada polisi, pengacara, dan hakim yang baik”. (Wawancara) Tempo 33(14) June 6, 2004: p.42-[45]

ノルウェー司法省汚職問題特別顧問がインドネシアの汚職撲滅について語る。

2 2 3 8

Berlomba mendongkrak peringkat. (Info lingkungan) Tempo 33(14) June 6, 2004: p.[73]-74, 76, 78

企業の環境対策に好影響を与えた環境庁の企業業績格付評価。4企業の事例を紹介。

2 2 3 9

Karawang, kota suci masa silam. (Selingan) Tempo 33(15) June 13, 2004: p.67-70, 72, 78

5 宗教を受け入れた西ジャワ州カラワンの宗教儀礼、遺跡と発掘物。写真 20 数葉収録。

2 2 4 0

Bajak laut Selat Malaka. (Liputan khusus) Tempo 33(18) July 4, 2004: p.24-26, 28-32, 34

海賊が荒らし回るマラッカ海峡。マレーシアとシンガポールはインドネシアの協力を要請。スマトラの海賊島からのルポ。

2 2 4 1

Bom waktu di balik jeruji. (Kesehatan) Tempo 33(18) July 4, 2004: p.52-54, 56, 58-63

薬物中毒者とその治療の実態。治療法はコーラン読誦、漢方、熱いお茶などさまざま。

2 2 4 2

Nasib Ayodya di ujung moncong senjata. (Hukum) Forum keadilan 14(10) July 4, 2004: p.23-27

恩赦要求が却下され急遽銃殺刑の執行が決まったヘロイン 12kg 所有者。顧問弁護士と国家覚醒剤取締組織の長に聞く。

2 2 4 3

Jalan pintas ke akhirat – bunuh diri, corak baru wajah kota. (Fokus) Forum keadilan 14(10) July 4, 2004: p.37-45

生活苦を理由に都市で急増する自殺。ジャカルタでは 19 件(2002 年)から 62 件(2003 年)へと急増。社会学者へのインタビュー収録。

2 2 4 4

Kembang dalam kloset. (Gaya hidup) Tempo 33(19) July 11, 2004: p.48-51

インドネシアのレズビアンの実態。家族からの扱われ方。集団としてのゲイとの相違点。

2 2 4 5

Selambar ulos yang sobek. (Selingan) Tempo 33(19) July 11, 2004: p.61-64, 66-69
パルプ工場の進出で森林破壊が進む北スマトラ州。反対派と賛成派に分離し住民間に亀裂。

2 2 4 6

Demi sebuah wibawa tradisional – suksesi raja Jawa. (Fokus) Forum keadilan 14(11) July 11, 2004: p.37-45

チルボン、スラカルタ両王家の世継ぎを巡る利害関係、策略、紛争。写真 15 葉収録。

2 2 4 7

Mengayuh hidup dengan sepeda. (Gaya hidup) Tempo 33(20) July 18, 2004: p. 58-[61]

インドネシアのスポーツ系自転車事情。

2 2 4 8

Dari letusan di suatu siang. (Layar) Tempo 33(20) July 18, 2004: p.63-66, 68-73
アチェの伝統音楽の紹介記事。

2 2 4 9

RUU KDRT, tameng kaum hawa. (Fokus) Forum keadilan 14(12) July 18, 2004: p.35-43

これまでの刑法典の弱点を補い、女性を家庭内暴力から守る法案の成立への期待が高まる。写真 12 葉収録。

2 2 5 0

Selimut hitam di pantai Balikpapan. (Lingkungan) Forum keadilan 14(12) July 18, 2004: p.[66]-69

原油で汚染される東カリマンタン州バリクパパンの海岸。漁師は失職、海洋生物も死滅。

2 2 5 1

Kontroversi Ladia Galaska – dihentikan atau diteruskan? (Fokus) Forum keadilan 14(13) July 25, 2004: p.[35]-45

アチェ横断道路建設への賛否両論。国会第4委員会議長(推進派)と環境 NGO 代表(反対派)へのインタビュー記事、同プロジェクトに関わる汚職額と国家利益損失額の統計を収録。

2 2 5 2

Datanglah, anak-anak zaman baru. (Kesehatan) Tempo 33(22) Aug. 1, 2004: p.52-54, 56-57

神童と呼ばれる子供たちへの接し方。IQ120を超すインドネシアの子供たちの事例。

2 2 5 3

100 tahun pengabdian – kisah seorang empu karawitan. (Layar) Tempo 33(22) Aug. 1, 2004: p.69-73, 76, 78-80, 82-84

中ジャワの王宮で音楽を学び、今年百歳を迎えたチョクロワルント氏の民族音楽への貢献。

2 2 5 4

Kawanan rampok berpistol di rumah mewah. (Forum utama) Forum keadilan 14(14) Aug. 1, 2004: p.11-20

高級住宅街を標的にした強盗グループによる犯罪が増加する背景とその手口を探る。

2 2 5 5

Potret kelam Teluk Buyat. (Lingkungan) Forum keadilan 14(14) Aug. 1, 2004: p.66-69

北スラウェシ州ブヤット湾で水俣病が発生？ニューモント社が出す廃棄物が原因か？

2 2 5 6

Nabiel Makarim – “Pelaku pencemaran Teluk Buyat harus diadili.” (Wawancara) Tempo 33(23) Aug. 8, 2004: p.94-96, 98

北スラウェシ州ブヤット湾の水銀汚染に関し環境問題担当国務大臣が様々な質問に回答。

2 2 5 7

Susahnya menjerat dokter yang bersalah. (Forum utama) Forum keadilan 14(15)

Aug. 8, 2004: p.11-21

多発する医療事故と待たれる被害者側を保護する法律の作成。ジャカルタの法律擁護機関が取り扱った2004年前半の事件をリスト化。

2 2 5 8

Sutiyoso – “Ketua PBSI adalah jabatan rugi.” (Wawancara) Tempo 33(24) Aug. 15, 2004: p.44-46, 48

全インドネシア・バドミントン連盟の新会長に選出されたスティヨソ・ジャカルタ首都特別州知事へのインタビュー記事。

2 2 5 9

Etnis Cina di zaman yang berubah. (Liputan khusus) Tempo 33(25) Aug. 22, 2004: p.[28]-29, 31-50, 52-59, 62-70, 72-[77], 80-82, 84-89

数々の差別の中を生きてきた中国系インドネシア人は「改革」の時代以降どのように変わったか。様々な分野からの証言を収録。

2 2 6 0

Operasi plastik gaya ruko. (Forum utama) Forum keadilan 14(17) Aug. 22, 2004: p.11-22

無資格者の整形手術で失敗し裁判沙汰になる事件が多発。整形手術の現状をルポ。

2 2 6 1

Nabiel Makarim – “Saya siap tuntutan Newmont, jika...” (Wawancara) Forum keadilan 14(17) Aug. 22, 2004: p.60-64

環境問題担当国務大臣がブヤット湾の重金属汚染事件でニューモント社を告発か？

2 2 6 2

Raam Punjabi – “Film itu tidak mengajak berzina.” (Wawancara) Tempo 33(26) Aug. 29, 2004: p.42-44, 46

若者向け映画 *Buruan Cium Gue* のモチーフを制作者が語る。

2 2 6 3

KH Abdullah Gymnastiar – “BCG! mengajak masyarakat berzina.” (Wawancara) Forum keadilan 14(18) Aug. 29, 2004: p.11-21

著名なイスラム導師が若者向け映画の一つ
*Buruan Cium Gue*を姦通への勧誘と批判。

2 2 6 4
Mahalnya sekolah kami. (Pendidikan)
Tempo 33(27) Sept. 5, 2004: p.52-[54], 56
多くの公立高校で入学時に数百万ルピアが
必要に。ますます高騰する教育費。

2 2 6 5
Indonesian Idol dan AFI. (Layar) Tempo
33(27) Sept. 5, 2004: p.71-74, 76, 78-87
民放インド・シアールの若者向け人気番組の
内情。

2 2 6 6
Wartawan menggugat – nota pembelaan.
Tempo 33(27) Sept. 5, 2004: p.[1]-16
トミー・ウィナタに名誉毀損で訴えられたテ
ンポ誌記者への弁護論説。

2 2 6 7
Amarah sepucuk pistol di tangan sipil.
(Forum utama) Forum keadilan 14(19)
Sept. 5, 2004: p.11-22
犯罪の増加で火器を持つ市民が急増。1951 年
法律第 12 号ではどう規制されているか。

2 2 6 8
Duh, mahalnya sekolah kita. (Fokus)
Forum keadilan 14(19) Sept. 5, 2004:
p.[37]-45
小学から高等教育まで教育関係費が高騰。教
育機会から遠ざけられる困窮世帯。

2 2 6 9
Atmakusuma Astraatmaja – “Wartawan
tidak boleh memaksa.” (Wawancara)
Forum keadilan 14(19) Sept. 5, 2004:
p.58-62
前国民報道審議会議長がジャーナリストの倫
理コードと違反者への制裁を語る。

2 2 7 0
Satu tahta, dua raja. (Selingan) Tempo
33(28) Sept. 12, 2004: p.57-60, 63-64, 66, 68,
70, 72
スルタン・カノマン 11 世の逝去に伴い、後

継者争いが激化するチルボン王宮の内情。

2 2 7 1
Azab di teluk Buyat. (Laporan utama)
Tempo 33(28) Sept. 12, 2004: p.134-136,
138-142, 144-145
北スラウェシ州ブヤット湾で水俣病？水銀
汚染の原因は企業の廃棄物？住民の金採掘？

2 2 7 2
Aroma skandal RUU Notaris Rp. 5M.
(Hukum) Forum keadilan 14(21) Sept. 19,
2004: p.24-27
公証人職務法案が抱える問題点を解説。

2 2 7 3
Vonis malu-malu untuk Tempo. (Hukum)
Tempo 33(30) Sept. 26, 2004: p.40-42, 44-45
名誉毀損でテンポ誌の記者に 1 年の刑。ジャ
ーナリズム審議会議長は判決をどうみたか。

2 2 7 4
Sepotong Makassar di tanah Arnhem.
(Selingan) Tempo 33(30) Sept. 26, 2004:
p.67-73, 76-78, 80
マカッサル古来の船を使ったオーストラリ
アの北海岸との貿易。アブオリジニの生活に残
された 17,18 世紀のマカッサル文化の痕跡。

2 2 7 5
Payung hukum notaris. (Fokus) Forum
keadilan 14(22) Sept. 26, 2004: p.[37]-45
任期切れを前に公証人職務法案を含めた数々
の法案の国会通過を目指す政府。公証人職務法
案の問題点を歴史と条文から探る。

2 2 7 6
Dari Budakeling ke Akropolis. (Layar) Tempo
33(31) Oct. 3, 2004: p.66-70, 73-77
バリ島の一寒村の芸術団体がアテネの博物
館で舞踊を披露。聖地巡礼も敢行。

2 2 7 7
Menimbang suntik mati. (Fokus) Forum
keadilan 14(23) Oct. 3, 2004: p.37-47
経済的理由で妻の尊厳死を求める夫の出現
により、安楽死・尊厳死論争が発生。心理学者
と医者へのインタビュー収録。

2 2 7 8

Berkomplot “meracun” Pulau Galang. (Kriminal) Forum keadilan 14(24) Oct. 10, 2004: p.50-53

数千トンの毒性廃棄物がシンガポールからガラン島へ持ち込まれた事件でバタム市に向けられる懐疑の目。

2 2 7 9

Para lelaki yang melahirkan kamus. (iQra) Tempo 33(33) Oct. 17, 2004: p.71-74, 76, 78-81

インドネシア各地の地方語辞書編纂に関わる人々を紹介。

2 2 8 0

Agama kompilasi hukum Islam – poligami *No*, kawin kontrak *Yes*. (Agama) Tempo 33(33) Oct. 17, 2004: p.116-125

宗教省のジェンダー平等チームが編集した夫婦平等法の素案が引き起こす論争。一夫多妻制、婚姻法、相続法、寄進法への影響は？

2 2 8 1

Poligami, jangan...kawin kontrak, silakan. (Forum utama) Forum keadilan 14(26) Oct. 24, 2004: p.11-21

宗教省のイスラム関係法案が引き起こした論争。ウラマ協議会とリベラル派の対立点。

2 2 8 2

Menelusuri motif pembunuhan Sangaji. (Kriminal) Forum keadilan 14(26) Oct. 24, 2004: p.50-55

クバヨラン・イン・ホテルの一室で起こった殺人事件の背景を探る。2年前に行われた犠牲者へのインタビューを収録。

2 2 8 3

Hendardi – “SBY harus bisa menangkap koruptor kakap.” (Wawancara) Forum keadilan 14(26) Oct. 24, 2004: p.62-66

法律・人権擁護連合会議長が法の確立面でユドヨノ政権が行うべき政策を語る。

2 2 8 4

Jaksa Agung Abdul Rahman Saleh – “Kita

prioritaskan kasus-kasus besar.” (Wawancara) Tempo 33(35) Oct. 31, 2004: p.58-60, 62

最高検長官が汚職とどう取り組むかを語ったインタビュー記事。

2 2 8 5

Hamdan Zulva – “Perlu komitmen untuk menegakkan hukum.” (Wawancara) Forum keadilan 14(27) Oct. 31, 2004: p.66-69

前月星党議員・法律家のハムダン・ズルヴァがユドヨノ政権が法確立面で取り組むべき課題を指摘したインタビュー記事。

2 2 8 6

Kasus SP3 Kejaksaan Agung -- surat sakti menjelang lengser. (Hukum) Tempo 33(36) Nov. 7, 2004: p.[134]-138, 141

汚職疑惑事件で無罪判決の役割を果たしてきた最高裁の取調中止命令。2000年以降のギナンジャーラ氏の取調経過、命令を受けた大企業経営者の名前、汚職疑惑事件、損害額を収録。

2 2 8 7

Sofyan Abdul Djalil – “Wartawan jangan ditahan karena tulisan.” (Wawancara) Tempo 33(37) Nov. 14, 2004: p.50-52, 54

通信・情報担当国務大臣が報道の自由と関連法規について語ったインタビュー記事。

2 2 8 8

Berburu khatib elit. (Forum utama) Forum keadilan 14(29) Nov. 14, 2004: p.11-23

断食明け大祭の前に、各地で引っぱりだこのイスラム説法師。その人気の秘密を探る。

2 2 8 9

Bara di atas nama Tuhan. (Agama) Tempo 33(38) Nov. 21, 2004: p.62-64, 66-68

キリスト教関係施設の建設によって高まるイスラム住民との宗教的対立。キリスト教団体は独立以降 922 の教会が破壊されたと発表。

2 2 9 0

Prostitusi TKI di Arab Saudi – di balik *abaya* yang tersingkap. (Laporan khusus) Tempo 33(39) Nov. 28, 2004: p.36-39

インドネシア女子海外労働者を巻き込んだ
売春がサウジ・アラビアで多発。

2 2 9 1

Film-film politik dari Glodok. (Layar)
Tempo 33(39) Nov. 28, 2004: p.67-70, 72,
74-76, 78-80

ジャカルタ、グロドック地区の電気街で人気
を呼ぶ政治事件関連映画の DVD。

2 2 9 2

Taufiequrachman Ruki – “Korupsi terjadi
dari hulu hingga hilir.” Tempo 33(41) Dec.
12, 2004: p.60-62, 64

汚職撲滅委員会議長が同委員会の活動指針に
ついて語ったインタビュー記事。

2 2 9 3

Epidemi HIV/AIDS di Indonesia – bila setia
tak lagi cukup. (Kesehatan) Tempo 33(41)
Dec. 12, 2004: p.70-72, 74-79

インドネシアにおけるエイズ予防と治療。3
人の患者／患者を家族に持つ女性を取り巻く環
境。

2 2 9 4

Pemberantasan korupsi – bidikan dari
gedung bundar. (Hukum) Tempo 33(41)
Dec. 12, 2004: p.128-133

汚職ランキングで 133 カ国中、上から 6 番
目に位置付けられたインドネシア。刑を受けた
者、放免された者、およびその汚職の詳細。

2 2 9 5

Lelah ditagih, dukun memberi racun.
(Forum utama) Forum keadilan 14(32)
Dec. 12, 2004: p.11-22

12 人の犠牲者を出した殺人祈祷師事件のル
ポ。祈祷師本人とその妻へのインタビュー収録。

2 2 9 6

Jalan panjang menuju HAM. (Fokus)
Forum keadilan 14(32) Dec. 12, 2004:
p.35-43

人権侵害事件と人権保護関連法の足跡を振り
返る。東ティモール特別人権裁判の求刑と判決
をリスト化して収録。

2 2 9 7

Korupsi para pamong – Puteh, memasuki
gerbang Salemba. (Hukum) Tempo
33(42) Dec. 19, 2004: p.108-110, 112-113

2001 年のロシア製ヘリ購入で汚職容疑者と
なったアチェ州知事。事件の経過を振り返る。

2 2 9 8

Kekerasan terhadap anak. (Fokus) Forum
keadilan 14(33) Dec. 19, 2004: p.[43]-51

増加する家庭内の児童虐待事件。発覚したも
のは氷山の一角。2002 年の児童保護法も無力。

2 2 9 9

Hidayat Nurwahid – “Koruptor sama
bahayanya dengan teroris.” (Wawancara)
Forum keadilan 14(34) Dec. 26, 2004:
p.24-28

国民協議会新議長が汚職撲滅に関し発言。

2005年 (社会、その他)

2300

Tokoh tahun 2004 – kepada mereka yang menjaga momen. Tempo 33(44) Jan. 2, 2005: p.30-71]

2004年に各分野で注目を浴びた人物26名を写真入りで紹介。

2301

Kilas balik peristiwa 2004. (Nasional) Tempo 33(44) Jan. 2, 2005: p.74-87

写真で振り返る2004年。

2302

Kilas balik peristiwa 2004 – kesehatan. Tempo 33(44) Jan. 2, 2005: p.104-107

2004年に生じた保健・医療関係事件を写真で振り返る。

2303

Kilas balik peristiwa 2004 – pendidikan. Tempo 33(44) Jan. 2, 2005: p.116-119

2004年の教育関係の出来事を写真で回顧。

2304

Hukum kita menjelang 100 hari. (Forum utama) Forum keadilan 14(35) Jan. 2, 2005: p.11-22

新政府の100日プログラムの実施で法律分野は改善されたか。憲法裁判所長官に聞く。

2305

Advokat ekspatriat – mereka bekerja tanpa rekomendasi organisasi advokat. (Fokus) Forum keadilan 14(35) Jan. 2, 2005: p.[43]-51

外国人弁護士を取り巻く法的環境を解説。弁護士法に照らすと、彼らの活動は何が違法か。

2306

Kiamat kecil di Serambi Mekah. (Nasional) Forum keadilan 14(35) Jan. 2, 2005: p.82-91

アチェを襲い、死体の山を築いた大津波。衛星写真を含む写真9葉収録。

2307

Tsunami Aceh – malaikat pagi di tanah jeumpa. (Laporan utama) Tempo 33(45) Jan. 9, 2005: p.24-44, 46-53

アチェを襲った大津波。衛星写真でみる地形の変化。惨状と救援活動。写真多数、図表収録。

2308

Keganjilan pengusutan kasus Adiguna Sutowo. (Forum utama) Forum keadilan 14(36) Jan. 9, 2005: p.11-21

ヒルトンホテル内カフェ従業員射殺事件で容疑者を警察が保護？事件の真相を探る。

2309

Neta S. Pane – “Polisi takut sama orang kaya dan mantan pejabat.” (Wawancara) Forum keadilan 14(36) Jan. 9, 2005: p.24-28

警察監視 NGO の議長がヒルトンホテル内の殺害事件と警察の対応を語る。

2310

Nasib anak korban bencana. (Fokus) Forum keadilan 14(36) Jan. 9, 2005: p.43-51

大津波で大きなトラウマを背負ったアチェの子供たち。大都市での治療を理由にした人身売買のうわさも広がる。写真10葉収録。

2311

Agar Aceh tak kehilangan kiblat. (Nasional) Forum keadilan 14(36) Jan. 9, 2005: p.84-87

物質面だけでなく精神面の再建も必要とされる大津波後のアチェ。支援が汚職に使われる可能性も。都市工学、経済学専攻の識者に聞く。

2312

Pasca-tsunami – anak-anak yang hilang. (Laporan utama) Tempo 33(46) Jan. 16, 2005: p.22-24, 26-50

各国からアチェに押し寄せる人的・物的援助と孤児連れ去り、「キリスト教化」のうわさ。

2313

Requiem untuk Aceh. (Layar) Tempo 33(46) Jan. 16, 2005: p.51-54, 56, 58, 60-61

津波から生き残ったアチェの芸術家たちは

災害への慟哭をどう表現したか。アチェの詩人たちが悲しみを綴った詩を掲載。

2 3 1 4

Keajaiban rumah Allah. (Fokus) Forum keadilan 14(37) Jan. 22, 2005: p.43-51

遺体と瓦礫のただ中にほとんど無傷で立つバンダアチェの大モスク。新旧大統領も訪問。

2 3 1 5

Pasukan asing tanpa bedil – *no free lunch*, Teuku. Tempo 33(47) Jan. 23, 2005: p.26-33

アチェにおける外国部隊の活躍と背後で生じる疑念。エンドリアルトノ国軍司令官に聞く。

2 3 1 6

Pasca-tsunami – yang bertumbuh setelah tsunami. (Laporan utama) Tempo 33(47) Jan. 23, 2005: p.38-43

散発的に起こる国軍と分離独立派間の銃撃戦。西部アチェ地域の惨状。

2 3 1 7

Aryono Pusponegoro – pemulihan minimal setahun. (Wawancara) Tempo 33(47) Jan. 23, 2005: p.54-57

一外科医が語る津波後のアチェにおける医療の実態。

2 3 1 8

100 hari pemerintahan SBY – target perburuan Jaksa Agung. (Hukum) Tempo 33(49) Feb. 6, 2005: p.54-56, 58, 60-64. 68-71

発足後 100 日を迎えたユドヨノ内閣。その法治面の実績を点検する。

2 3 1 9

Sebuah ‘jembatan’ bernama *chicklit*. (Buku) Tempo 33(49) Feb. 6, 2005: p.94-97

若い女性の間で人気が高まる小説とその内容。売上げ利益の分配方法も解説。

2 3 2 0

Prof. Dr. Tubagus Ronny Rahman Nitibaskara – “Kejahatan tingkat atas mungkin akan naik lagi.” (Wawancara)

Forum keadilan 14(39) Feb. 6, 2005: p.[62]-66

大災害の後増加する様々な犯罪をインドネシア大学トゥバグス教授が指摘。

2 3 2 1

Kembalinya Si Buta dari Gua Hantu. (iQra) Tempo 33(50) Feb. 13, 2005: p.63-70, 72, 74-76

1970 年代に人気があった国産漫画を回顧。希少本となり、愛好家たちが再版。

2 3 2 2

Denda tidak realistis merokok di sembarangan tempat. (Forum utama) Forum keadilan 14(40) Feb. 13, 2005: p.11-22

公共の場所での喫煙に罰金を課したジャカルタ地方政府。ザル法になると懸念する NGO。

2 3 2 3

Imlek, sebuah festival budaya. (Fokus) Forum keadilan 14(40) Feb. 13, 2005: p.37-45

中国の旧正月を前にした中国系住民の準備の様子をルポ。写真 11 葉収録。

2 3 2 4

Dr. dr. Siti Fadilah Supari, Sp. JP – “Malpraktik akan tambah banyak.” (Wawancara) Forum keadilan 14(40) Feb. 13, 2005: p.60-64

社会階層の上下を問わない不適切医療の危険性。企業化する病院に問題？保健相に聞く。

2 3 2 5

Secuil kertas penggebah asap kelabu. (Lingkungan) Tempo 33(51) Feb. 20, 2005: p.48-50, 52-53

ジャカルタ首都特別州が自家用車とオートバイの排ガス規制を実施。ガス燃料の普及計画も開始。

2 3 2 6

Wabah demam berdarah – tak perlu lagi mikirin biaya. (Kesehatan) Tempo 33(51) Feb. 20, 2005: p.54-57

デング熱が再び流行。無料治療制度を知らな

い多数の患者たち。

2 3 2 7

Tanjidor di bulan Syawal. (Layar) Tempo 33(51) Feb. 20, 2005: p.63-66, 69, 72-75

ダンドゥットやジャイポンガンなどに押され、消滅が懸念されるタンジドル音楽。写真 10 葉収録。

2 3 2 8

Tim gabungan memburu koruptor ke luar negeri. (Forum utama) Forum keadilan 14(41) Feb. 20, 2005: p.11-21

海外に雲隠れした汚職容疑者・受刑者たちを新政権特別チームは捕まえることができるか。

2 3 2 9

Ritual 1 Suro di tengah ancaman. (Fokus) Forum keadilan 14(41) Feb. 20, 2005: p.37-48

スラカルタ王家の内紛でジャワ暦新年を祝う儀礼にも影響が。王宮文化研究者に聞く。

2 3 3 0

Lamno tak lalu dari ingatan. (Selingan) Tempo 33(52) Feb. 27, 2005: p.[73]-78, 80

津波による壊滅的被害を受けたアチェのラムノ地区。同地に代々住み続けたポルトガル人末裔の足跡をたどる。写真 10 葉収録。

2 3 3 1

Perjanjian ekstradisi – selarik senyum dengan interupsi. (Hukum) Tempo 33(52) Feb. 27, 2005: p.120-125

逃亡犯人引き渡し条約に関する協議に応じたシンガポール。汚職で有罪判決を受けた者の引き渡しは可能か。

2 3 3 2

Longsor di TPA Leuwigajah – horror di bukit sampah. (Lingkungan) Tempo 34(1) Mar. 6, 2005: p.50-52, 54-55

バンドン県のゴミ最終置き場のゴミ山が崩落し、数 10 人が死亡。なぜ同様の人災が繰り返されるのか。

2 3 3 3

Meutia Farida Hatta Swasono – Sekarang

perempuan tulang punggung keluarga. (Wawancara) Forum keadilan 14(43) Mar. 6, 2005: p.62-66

女性エンパワーメント担当国務大臣に聞く。津波がもたらした孤児と寡婦をどう守るか。

2 3 3 4

Keganasan bajingan di angkutan umum. (Forum utama) Forum keadilan 14(44) Mar. 13, 2005: p.11-22

公共交通機関で発生する犯罪をどう防ぐか。

2 3 3 5

Tramtib ... oh .. Tramtib – kekerasan di sekitar penerbitan. (Fokus) Forum keadilan 14(44) Mar. 13, 2005: p.[37]-45

ジャカルタ治安当局の本来の任務と暴力による鎮圧を考える。

2 3 3 6

Adhyaksa Dault – “Kami sudah banyak bekerja.” (Wawancara) Forum keadilan 14(44) Mar. 13, 2005: p.60-64

青年・スポーツ担当国務大臣へのインタビュー。スポーツ振興、海外移住労働者問題、他。

2 3 3 7

Ali Sadikin – “Demi judi, saya rela masuk neraka.” (Wawancara) Tempo 34(4) Mar. 27, 2005: p.42-45

賭博の合法化を訴えるアリ・サディキン元ジャカルタ首都特別州長官に聞く。

2 3 3 8

Atas nama hukum, mereka harus mati. (Forum utama) Forum keadilan 14(47) Apr. 3, 2005: p.11-22

死刑を宗教、哲学、イスラム法から考える。

2 3 3 9

Bencana belum berlalu – petaka kini mengguncang Nias. (Laporan utama) Tempo 34(6) Apr. 10, 2005: p.26-30, 32-34, 36-41

マグニチュード 8.7 の地震がニアス島を直撃。アチェを襲った地震との違いは何か。災害、避難、援助の状況を写した写真多数収録。

2 3 4 0

Centini, kekasih yang tersembunyi. (iQra) Tempo 34(6) Apr. 10, 2005: p.67-70, 72-74, 76, 78-79

フランス人研究者がジャワ古典文学を翻訳。彼女を魅了する「チュンティニの書」の世界。

2 3 4 1

Kaum perempuan menggapai hak-haknya. (Fokus) Forum keadilan 14(48) Apr. 10, 2005: p.[37]-22

差別や人権侵害にさらされるインドネシア人女性と権利獲得の動き。

2 3 4 2

Dr. Faisal H. Basri – “Kita butuh undang-undang bencana secepatnya.” (Wawancara) Forum keadilan 14(48) Apr. 10, 2005: p.60-65

人道援助緊急委員会議長がアチェとニアスにおける災害援助のあり方を語る。

2 3 4 3

Marsudhi Hanafi – Tak ada kejahatan sempurna. (Wawancara) Tempo 34(7) Apr. 17, 2005: p.46-48, 50

人権活動家ムニール殺害事件捜査の先頭に立つ警察幹部に聞く。

2 3 4 4

Pasca-Gempa Nias – kecemasan tak berujung. (Ilmu & teknologi) Tempo 34(7) Apr. 17, 2005: p.52-57

数千の住民が余震を恐れ、ニアス島を脱出。最新の被災者捜索・救命技術の紹介。

2 3 4 5

Festival keselamatan di bulan kedua. (Layar) Tempo 34(7) Apr. 17, 2005: p.67-70, 72, 74, 76, 78-80

イスラム暦2月（サバル月）に中部ジャワで催されるさまざまな伝統行事、宗教儀礼の紹介。

2 3 4 6

Pembalakan liar – berseteru hutan warisan di Papua. (Hukum) Tempo 34(7) Apr. 17, 2005: p.100-106

森林違法伐採関係法規をめぐる林業相とパ

プア州知事の対立。数字みる過去5年間に起こったパプアの森林違法伐採。

2 3 4 7

Gembong ekstasi tewas, meninggalkan teka-teki. (Kriminal) Forum keadilan 14(50) Apr. 24, 2005: p.48-55

合成麻薬密売の国際シンジケートの中核人物が警察による製造工場の急襲中に射殺。

2 3 4 8

Penggerebekan pabrik ekstasi – ekstasi dari kandang sapi. (Kriminalitas) Tempo 34(9) May 1, 2005: p.98-100, 102-104

武装した警察たちが合成麻薬工場を急襲。工場所有者はその場で射殺。犯罪ネットワークは未解明。

2 3 4 9

Utang ditolak, penculik bertindak. (Forum utama) Forum keadilan 15(1) May 1, 2005: p.11-21

近年急増する企業役員とその家族を狙った誘拐事件。要求金額は1000万から35億まで。

2 3 5 0

Demi sebuah ukhuwah islamiyah. (Fokus) Forum keadilan 15(1) May 1, 2005: p.37-45

第4回インドネシア・イスラム教徒会議のルポ。地方分権化に伴うイスラム法適用の要求も。

2 3 5 1

Gandrung bocah di tanah wisata. (Selingan) Tempo 34(10) May 8, 2005: p.61-66, 68, 70

小児性愛症者の犠牲となるバリ島の子供たち。村ごとの犠牲者数や観光客の出身国別犯罪者数統計を収録。

2 3 5 2

Potret gamang pendidikan Indonesia. (Fokus) Forum keadilan 15(2) May 8, 2005: p.[37]-45

猫の目のように変わるカリキュラムや老朽化した施設など、問題の多い教育現場のルポ。

2 3 5 3

Selamat datang di kota berlangit biru. (Lingkungan) Tempo 34(11) May 15,

2005: p.50, 53-55
環境問題を重視し来年からガス燃料を使用する首都公共交通機関。バスレーンやバジャイの対応を紹介。

2 3 5 4
Ancaman polio – tangisan bocah Sukabumi. (Kesehatan) Tempo 34(11) May 15, 2005: p.[100]-103
10年前の撲滅宣言後、再び児童を襲い始めたポリオ菌。必要とされる世界的な取組。

2 3 5 5
Imam baru dari ngaji lelaki. (Forum utama) Forum keadilan 15(3) May 15, 2005: p.11-22
元ボクサーでイスラム寄宿塾長が礼拝時にインドネシア語でコーランを読誦させ、警察に拘束。ウラマ団体もシャーリアに違ふとの見解。

2 3 5 6
Drs. Didin Sirojuddin, M. A. – “Membumikan figh seni”. (Wawancara) Forum keadilan 15(3) May 15, 2005: p.60-64
アラビア文字書道家へのインタビュー記事。

2 3 5 7
Narkotika & obat berbahaya – bermula dari telegram rahasia. (Kriminalitas) Tempo 34(12) May 22, 2005: p.112-116
バリ警察がヘロイン 11 キロを国外へ持ち出そうとしたオーストラリア国籍人 9 人を逮捕。バリ島は国際マフィアが狙う中継地？

2 3 5 8
Nasib hakim di negeri ‘kobo’. (Fokus) Forum keadilan 15(4) May 22, 2005: p.[37]-45
判事たちが汚職から足を洗うことは可能か。

2 3 5 9
Naskah-naskah yang terlupakan. (iQra) Tempo 34(13) May 29, 2005: p.[69]-72, 75-80
ロンタール椰子の葉に書かれたイスラム化前のジャワ人の精神世界を記した文献の分布。

2 3 6 0

Buku, bisakah jadi menu? (Fokus) Forum keadilan 15(5) May 29, 2005: p.[37]-45
国民の本離れの改善は可能か。作家たちの経済状況も懸念すべき状況。4人の作家に聞く。

2 3 6 1
Komisaris Jenderal Polisi Sutanto – “Konsumsi heroin kita 20 ton setahun.” (Wawancara) Tempo 34(14) June 5, 2005: p.46-48, 50
国家薬物機関長官へのインタビュー記事。
26 省庁が同機関に協力。薬物中毒患者は毎年 28%増加。

2 3 6 2
Korupsi sepanjang jalan. (Demos) Tempo 34(14) June 5, 2005: p.75-78, 80-81, 84-89
スハルト時代も「改革」の時代も変わらない汚職の蔓延。反汚職の有力なアクターは？

2 3 6 3
Bongkar-pasang hakim Tommy. (Hukum) Tempo 34(14) June 5, 2005: p.120-124
トミー・スハルトの再審要求担当判事が辞任。背後に贈賄の噂。最高裁長官への質疑応答収録。

2 3 6 4
Ajaran menyimpang, haruskah dipidanakan? (Fokus) Forum keadilan 15(6) June 5, 2005: p.37-45
イスラム教義に反するセクト、出版物、および指導者たちがここ 1 カ月間で多数問題に。

2 3 6 5
Generasi baru para centeng. (Forum utama) Forum keadilan 15(7) June 12, 2005: p.11-23
暴力集団の縄張り争いでとうとう死者。警察の弱腰な態度が彼らをのさばらせる原因？

2 3 6 6
Untuk satu “perahu”. (Fokus) Forum keadilan 15(7) June 12, 2005: p.37-45
ますます深刻化するインドネシアの環境問題。5人の識者に対処法を聞く。

2 3 6 7
Gaung hukum cambuk bergema dari tanah

Bireuen. (Forum utama) Forum keadilan 15(9) June 26, 2005: p.11-21
アチェ州でむち打ち刑が復活。イスラム法裁判所長とイスラム法研究者の見解を聞く。

2 3 6 8

Anomali ratu Indonesia. (Fokus) Forum keadilan 15(9) June 26, 2005: p.37-45
ミスワールド・コンテストへの代表派遣の歴史を振り返る。各界 5 人の意見を収録。

2 3 6 9

Enam bulan pasca-tsunami – secarik kertas di saku Pak Joni. (Liputan khusus) Tempo 34(18) July 3, 2005: p.26-38, [40]-[41]
大津波後 6 カ月を迎えたアチェ。各県・市の難民と仮設住宅数。写真多数収録。

2 3 7 0

100 tahun Covarrubias – dewa-dewa di ruang sempit. (Layar) Tempo 34(18) July 3, 2005: p.73-76, 78, 80-82, 84, 86, 88-89
1937 年に名著 *Island of Bali* を出版したメキシコの芸術家がみたバリ島。写真多数。

2 3 7 1

Kampus negeri bertarif selangit. (Pendidikan) Tempo 34(18) July 3, 2005: p.120-123
上昇し続ける大学の入学金、授業料、他。有名 3 大学の諸経費比較表収録。

2 3 7 2

Kala jago merah melalap ibu kota. (Fokus) Forum keadilan 15(10) July 3, 2005: p.[43]-51
火災に弱い都市、首都ジャカルタ。貧弱な消防インフラの現状ををどう改善するか。

2 3 7 3

Benyamin Suaeb – dari tukang kredit sampai perkutut. (Layar) Tempo 34(19) July 10, 2005: p.63-66, 68, 70-73
人気歌手・俳優だったベンヤミン S.を写真とともに回顧する。

2 3 7 4

Kasus penjualan ABG – dalam jeratan bapak ayam. (Kriminalitas) Tempo 34(19) July 10, 2005: p.100-104
40 人の若いインドネシア人女性がマレーシアの売春窟に拘束。同国への入国経路は？

2 3 7 5

Indonesia dan narkoba. (Fokus) Forum keadilan 15(11) July 10, 2005: p.[37]-45
薬物売買取締の甘さは何が原因か？

2 3 7 6

Soe Hok Gie – kegelisahan tanpa ujung. (Layar) Tempo 34(20) July 17, 2005: p.59-62, 64-70, 72
66 年世代の一活動家ス・ホック・ギーの生涯を綴った映画を製作した背景。

2 3 7 7

Ada apa dengan ujian nasional – guru langka, murid kecewa. (Pendidikan) Tempo 34(20) July 17, 2005: p.96-100, 102
紛争地で最終学力試験に通らず、卒業できない中学・高校生が急増。

2 3 7 8

Mutilasi lagi! (Kriminal) Forum keadilan 15(12) July 17, 2005: p.13-21
最近連続して起こったバラバラ殺人事件のルポ。

2 3 7 9

Krisis dokter – tergiur layanan yang nyaman. (Kesehatan) Tempo 34(21) July 24, 2005: p.56-60
マレーシアの病院にインドネシア人患者が押しかける理由。

2 3 8 0

Kasus Ginandjar – melongok kembali kasus Ginandjar. (Hukum) Tempo 34(21) July 24, 2005: p.108-112
検察がギナンジャール地方代表議会議長を巻き込んだ汚職事件の調査を再開。

2 3 8 1

Siasat bandar judi melawan Kapolri. (Forum utama) Forum keadilan 15(13) July 24,

2005: p.11-21
 賭博の強制捜査に乗り出した警察と新たな
 策略で新警察長官に挑戦する賭博の元締め。

2 3 8 2
 Bonek-bonek lapangan bola. (Fokus) Forum
keadilan 15(13) July 24, 2005: p.37-45
 衝突と暴挙が絶えないサッカーサポーター。

2 3 8 3
 Bambang Sudibyo – “Pengutan di sekolah
 harus seizin pemerintah.” (Wawancara)
Tempo 34(22) July 31, 2005: p.52-54, 56
 国民教育大臣へのインタビュー記事。中高生
 のドロップアウトを減少させる手立ては？

2 3 8 4
 Flu burung – melacak jejak virus pembunuh.
 (Kesehatan) Tempo 34(22) July 31, 2005:
 p.100-102, 104-106
 鳥インフルエンザに感染して親子 3 人が死
 亡。有効な感染防止策は何か。

2 3 8 5
 Imam Mahdi dan kekerasan atas nama
 agama. (Forum utama) Forum keadilan
 15(14) July 31, 2005: p.11-21, 23
 インドネシア・ウラマ協議会によってイスラ
 ムから逸脱した教団とされたアフマディヤ。同
 教団側はこれまでの活動を変えず。

2 3 8 6
 Djoko Susilo – “Kenapa bikin SIM kok
 susah?” (Wawancara) Forum keadilan
 15(14) July 31, 2005: p.62-66
 不可欠となった公的情報を得る国民の権利
 を定めた法律。国会第 3 委員会委員に聞く。

2 3 8 7
 Anton Apriyantono – “Indonesia bebas flu
 burung, 2007.” (Wawancara) Tempo
 34(23) Aug. 7, 2005: p.42-45
 農業相に鳥インフルエンザ対策を聞く。

2 3 8 8
 Penanganan flu burung – flu maut masih
 mengintai. (Kesehatan) Tempo 34(23)
 Aug. 7, 2005: p.84-86, 88-89

多くの障害に直面する鳥インフルエンザ対
 策。一方で関連需要が急拡大した企業も出現。

2 3 8 9
 “Katebelece” dan peradilan yang melelahkan.
 (Forum utama) Forum keadilan 15(15)
 Aug. 7, 2005: p.11-21
 最高裁長官の一通の書簡が係争中の一企業
 の立場を有利に。10 年の裁判は何だったのか。

2 3 9 0
 Remaja-remaja pengharum negeri.
 (Selingan) Tempo 34(24) Aug. 14, 2005:
 p.67-70, 72, 74-76, 78, 80
 科学研究分野の国際大会で好成績を残した
 5 人のティーンエイジャーの横顔。

2 3 9 1
 Gonjang-ganjing fatwa ulama. (Agama)
Tempo 34(24) Aug. 14, 2005: p.[44]-46, 48
 第 7 回インドネシア・ウラマ協議会全国大会
 で決議されたファトワ（法学裁定）の波紋。

2 3 9 2
 Fatwa kontroversial MUI. (Fokus) Forum
keadilan 15(16) Aug. 14, 2005: p.37-45
 異教徒間婚姻や女性礼拝指導者の是非を含
 む 11 のファトワ（法学裁定）を出したインド
 ネシア・ウラマ協議会と識者の反応。

2 3 9 3
 Di balik kematian Umbu. (Forum utama)
Forum keadilan 15(17) Aug. 21, 2005:
 p.11-21
 東南スラウェシ高等検察副所長の変死と数
 10 億ルピアにのぼる地方高官の汚職疑惑。

2 3 9 4
 Thahir Saimima dan Prof. Dr. Mustafa
 Abdullah – “Berburu hakim nakal.”
 (Wawancara) Forum keadilan 15(17) Aug.
 21, 2005: p.60-64
 司法委員会の 2 名のメンバーに聞く。

2 3 9 5
 Para pemburu gelar. (Forum utama) Forum
keadilan 15(18) Aug. 28, 2005: p.11-21
 多数の中央や地方の高官たちが偽学歴証書を

購入。法的制裁はどうあるべきか。

2 3 9 6

Ironi 60 th merdeka. (Fokus) Forum keadilan 15(18) Aug. 28, 2005: p.[37]-45
独立 60 周年を迎えて山積する問題を写真で追う。

2 3 9 7

Denny Kailimang – “Advokat bukan Cuma cari uang.” (Wawancara) Forum keadilan 15(18) Aug. 28, 2005: p.60-64
インドネシア弁護士協会総議長へのインタビュー記事。報道法と刑法の適用問題。

2 3 9 8

Telapak Cheng Ho di Laut kita. (Layar) Tempo 34(27) Sept. 4, 2005: p.[55]-58, 61, 64-[66], 68-71
鄭和の大航海とインドネシアに残した足跡。写真、イラスト多数収録。

2 3 9 9

Jual beli gelar akademis – gelar murah tanpa kuliah. (Kriminalitas) Tempo 34(27) Sept. 4, 2005: p.84-89
学位取得証明書を売った 10 数人を逮捕。買った数千人のうち 5 名のコメントを収録。

2 4 0 0

Ketika preman berdasi berdaulat. (Forum utama) Forum keadilan 15(19) Sept. 4, 2005: p.11-21
暴力団の元締めはなぜ逮捕するのが困難か。

2 4 0 1

Anton Medan – “Eksistensi preman Indonesia diakui.” (Wawancara) Forum keadilan 15(19) Sept. 4, 2005: p.60-64
華人の元ヤクザへのインタビュー記事。

2 4 0 2

Soal penutupan gereja – sebatang salib yang dikunci. (Laporan utama) Tempo 34(28) Sept. 11, 2005: p.26-33
相次ぐ無許可プロテスタント教会の閉鎖措置。信者の礼拝施設への需要が高く、許可無く建設された多数の施設とその後の信者の道。

2 4 0 3

Bandung dalam sketsa. (iGra) Tempo 34(28) Sept. 11, 2005: p.63-66, 68, 72-75
バンドンの古い建物を描いた水彩画の画集を出版。画家はすべてバンドン市民。

2 4 0 4

Sindikot narkoba di tubuh jaksa. (Forum utama) Forum keadilan 15(20) Sept. 11, 2005: p.11-21
検察と麻薬シンジケートとの癒着は解明できるか。最高検長官へのインタビュー収録。

2 4 0 5

Warisan pemikiran Cak Nur. (Fokus) Forum keadilan 15(20) Sept. 11, 2005: p.[37]-45
イスラム知識人・思想家ヌルホリシュ・マジドが残したもの。代表的著作 14 点の概要。

2 4 0 6

Jatuhnya pesawat Mandala – seribu tanya di Polonia. (Nasional) Tempo 34(29) Sept. 18, 2005: p.42-44, 46-47
乗客と住民多数が犠牲になったマンダラ機墜落事故の詳細ルポ。待たれる新空港の開港。

2 4 0 7

Hobbit Flores, dunia yang hilang. (Selingan) Tempo 34(29) Sept. 18, 2005: p.71-74, 76, 78-82, 84, 86
フローレス島で原人の化石を発見。同島に伝わる独特の慣習と生き物たち。

2 4 0 8

Humphrey Djemat, SH – “Harus ada perubahan terhadap peran organisasi advokat.” (Wawancara) Forum keadilan 15(21) Sept. 18, 2005: p.60-64
インドネシア弁護士協会議長候補に聞く。

2 4 0 9

Kartu pos olahraga – judi atau hadiah? (Forum utama) Forum keadilan 15(22) Sept. 25, 2005: p.11-21
スポーツくじ付はがきへの賛否両論。

2 4 1 0

Wajah pengadilan HAM kita. (Fokus) Forum keadilan 15(22) Sept. 25, 2005: p.[37]-45

東ティモール関係人権裁判の記録。その他の人権裁判、未裁判、頓挫した人権侵害事件。

2 4 1 1

Irjen. Pol. Basyir Ahmad Barmawi – “Polisi bandel akan dicopot.” (Wawancara) Forum keadilan 15(22) Sept. 25, 2005: p.62-66

警官の質をどう高めるか？警察本庁人材育成担当次官へのインタビュー記事。

2 4 1 2

Flu burung dari segenap penjuru – di bawah bayangan pandemi. (Laporan utama) Tempo 34(31) Oct. 2, 2005: p.104-110

次々に死亡する鳥インフルエンザ患者。懸念される爆発的流行。政府の取り組みを紹介。

2 4 1 3

Sangkur maut di meja hijau. (Forum utama) Forum keadilan 15(23) Oct. 2, 2005: p.11-21

インドネシア裁判史上初めて法廷で殺人事件が発生。妻と判事殺害事件の全容をルポ。

2 4 1 4

13 hakim bermasalah versi LSM. (Hukum) Forum keadilan 15(23) Oct. 2, 2005: p.25-29

NGO 連合体が判決内容に問題のある裁判官 13 名を司法委員会に報告。

2 4 1 5

Abdul Rahman Saleh – “...kalau pelakunya pintar, kan bisa canggih (modusnya).” (Wawancara) Tempo 34(32) Oct. 9, 2005: p.48-50, [52]

最高検長官に汚職への取り組みを聞く。

2 4 1 6

Sinta Obong – sebuah tafsir. (Layar) Tempo 34(32) Oct. 9, 2005: p.65-70, 72, 74-75

ガリン・ヌグロホ監督のジャワ・ミュージカル・ドラマを紹介。ラーマーヤナとの違いは？

2 4 1 7

Perlawanan balik koruptor – geliat KPK memberantas korupsi. (Fokus) Forum keadilan 15(24) Oct. 9, 2005: p.[41]-49

汚職撲滅委員会の厳しい取締に対し、名誉毀損で検察庁に訴えて対抗する運動が発生。

2 4 1 8

Pergi cari duit, pulang jadi mayat. (Kriminal) Forum keadilan 15(24) Oct. 9, 2005: p.56-59

東ジャワ州モジョクルト県で4名の海外女子労働者の遺体を発見。背後にシンジケート？

2 4 1 9

Riau, negeri sahibul katib. (iQra) Tempo 34(33) Oct. 16, 2005: p.67-70, 72-76, 78, 80-81

リアウ地方の出版活動と作家たちの紹介。

2 4 2 0

Penyuapan di Mahkamah Agung. (Hukum) Tempo 34(33) Oct. 16, 2005: p.108-110, 112-[113]

判決の売買疑惑で元締めとうわさされるバギール・マナン最高裁長官。一方で、すべての職員が長官家族を利用できる環境に。

2 4 2 1

Mahkamah yang pendiam – komplotan calo perkara menjelang subuh. (Forum utama) Forum keadilan 15(25) Oct. 16, 2005: p.11-21

バギール・マナン最高裁長官が収賄に関わっていないと発言。氏へのインタビュー収録。

2 4 2 2

Setelah dinyatakan bukan tersangka. (Pendidikan) Forum keadilan 15(25) Oct. 16, 2005: p.58-62

図書購入援助金の収賄疑惑から解放された国民教育省の総局長と援助金に関わる法令。

2 4 2 3

Senjakala pusaka ningrat. (Selingan) Tempo 34(34) Oct. 23, 2005: p.67-70, 73, 76-82

スラカルタ王家の内紛で家宝の短剣(クリス)の紛失が表面化。その密売ルートを探る。クリスの各部名称、製造の様子も紹介。

2 4 2 4

Penyuapan di MA – menelisik komplotan mafia di MA. (Hukum) Tempo 34(34) Oct. 23, 2005: p.110-115

汚職撲滅委員会が最高裁判決売買疑惑を暴く好機が到来。最高裁長官は関わっているか。

2 4 2 5

Menjaring pramusyahwat di bulan penuh berkah. (Forum utama) Forum keadilan 15(26) Oct. 23, 2005: p.11-21

断食月に入って強化される警察による売春婦たちの取締をルポ。

2 4 2 6

Carut Marut wajah hukum. (Fokus) Forum keadilan 15(26) Oct. 23, 2005: p.[37]-45

最高裁を舞台にした贈収賄が暴露され、ますます地に落ちる司法の権威。検察と裁判所における汚職をタイプ別に整理した表を収録。

2 4 2 7

Mudik lagi! (Info mudik) Tempo 34(36) Nov. 6, 2005: p.[59]-60, 62, 64-[65], 68, 70, 72

断食明け大祭を前に、自家用車、携帯電話サービス、買い物情報など帰省関連情報を収録。

2 4 2 8

Tetap mudik meski BBM naik. (Fokus) Forum keadilan 15(28) Nov. 6, 2005: p.[39]-47

石油燃料の大幅値上げで帰省に燃費の安いバイクを使用する家族が急増。その様子をルポ。

2 4 2 9

‘Duta seni’ ke Jepang. (Kriminal) Forum keadilan 15(28) Nov. 6, 2005: p.50-53

日本でアーティストやカラオケ店従業員として働く約束だったが人身売買され、売春を強要されているインドネシア女子労働者の実態。

2 4 3 0

Otto Hasibuan – “Mantan hakim jadi pengacara, tidak pas dengan iklim di

Indonesia.” (Wawancara) Forum keadilan 15(28) Nov. 6, 2005: p.62-66

インドネシア弁護士協会会長が法曹界の問題点を指摘したインタビュー記事。

2 4 3 1

Kasus penyuapan di Mahkamah Agung – sudah terikat sistem korup. (Hukum) Tempo 34(36) Nov. 6, 2005: p.100-105

最高裁の腐敗体質をどう正すか。元最高裁事務局長へのインタビュー収録。

2 4 3 2

Pelajaran dari negeri jauh. (Selingan) Tempo 34(38) Nov. 20, 2005: p.[63]-66, 68, 70-72, 74-76

インドネシアの劇団がカイロでベスト・アンサンブル賞を受賞。カイロ見聞記も収録。

2 4 3 3

Wabah baru -- menuju Indonesia sehat. (Info sehat) Tempo 34(38) Nov. 20, 2005: p.[81]-83, 86, 90

国民健康の日特集。どの病気に注意すべきか。

2 4 3 4

Rendra – “Saya ingin punya *masterpiece*.” (Wawancara) Tempo 34(38) Nov. 20, 2005: p.100-103

年齢 70 にしてまだマスターピースを追い求める劇作家・詩人レンドラへのインタビュー記事。

2 4 3 5

Penggerbakan pabrik narkoba. (Kriminal) Tempo 34(39) Nov. 27, 2005: p.92-96

バンテン州タンゲランの合成麻薬工場を警察が急襲。アジアのマフィアに接触を行ってきたと考えられる工場所有者を逮捕。

2 4 3 6

Penyiksaan dan diskriminasi di penjara. (Fokus) Forum keadilan 15(30) Nov. 27, 2005: p.37-45

囚人虐待を禁じた国際協定を批准したものの、まだ続く当局による虐待行為。

2 4 3 7

Ir. Rachmat Witoelar – “Tetap berprinsip

pembangunan berkelanjutan.” (Wawancara) Forum keadilan 15(30) Nov. 27, 2005: p.62-66

環境大臣が多方面にわたる環境悪化の実態について回答したインタビュー記事。

2 4 3 8

Perantau dari nusa utara. (Selingan) Tempo 34(40) Dec. 4, 2005: p.69-72, 74, 76-78, 80

フィリピンに暮らすサンギへ諸島出身海洋民の生活を写真で紹介。交流は 15 世紀にさかのぼり、サンギへ語のラジオニュースも放送。

2 4 3 9

Islam pun bagi orang Tionghoa. (Fokus) Forum keadilan 15(31) Dec. 4, 2005: p.[35]-43

イスラムに改宗した中国系インドネシア人コミュニティとその歴史。

2 4 4 0

Hari AIDS sedunia – dipicu jarum pecandu. (Kesehatan) Tempo 34(41) Dec. 11, 2005: p.94-96, 98

1 年で 3 倍に増えたインドネシアのエイズ患者。大部分が薬物の注射で感染。

2 4 4 1

Kasus Probosutedjo – menggiring Eko masuk penjara. (Hukum) Tempo 34(41) Dec. 11, 2005: p.104-106, 108-110

スハルトの異父弟プロボステジョが自らの緑化基金汚職事件で刑務所に入らないよう 160 億ルピアを検察と裁判所にばらまく？

2 4 4 2

Kasus Ginandjar – sudah Ginandjar, Soeharto pula. (Hukum) Tempo 34(41) Dec. 11, 2005: p.112-114, 116

最高検が技術協力契約(TAC)関連汚職でギナンジャール地方代表会議議長とスハルト元大統領を容疑者に認定。事件の経緯を収録。

2 4 4 3

Probo dibui, Soeharto kapan? – langkah pertama nyaris menggoda. (Forum utama) Forum keadilan 15(32) Dec. 11, 2005:

p.11-21

ついにチピナン刑務所に監禁されたプロボステジョ。スハルトを追求する動きも強化？

2 4 4 4

Zat beracun di tubuh ikan. (Fokus) Forum keadilan 15(32) Dec. 11, 2005: p.[37]-45

北ジャカルタの畜産・漁業・海洋局が食用魚の中にフォルマリンを検出。安全な魚はどこに。

2 4 4 5

Nasib guru tergantung sertifikat. (Forum utama) Forum keadilan 15(33) Dec. 18, 2005: p.11-21

教官・講師関連法は定められたものの、免状授与システムをめぐって新たな汚職の懸念。問題のある条文を点検する。

2 4 4 6

Suparman – “Guru TK dan SD dikerjai oleh undang-undang ini.” (Wawancara) Forum keadilan 15(33) Dec. 18, 2005: p.24-28

インドネシア独立教師連盟議長が教師・講師関連法の問題点を指摘したインタビュー記事。

2 4 4 7

Reformasi pengadaan buku pelajaran – meringankan beban siswa dan orangtua. (Pendidikan) Forum keadilan 15(33) Dec. 18, 2005: p.72-75

国民教育省とバライプスタカ社による教科書出版の独占を禁じた法律が公布。汚職・癒着・縁故主義の克服に効果を発揮するか。

2 4 4 8

Ludruk yang menolak mati. (Layar) Tempo 34(43) Dec. 25, 2005: p.71-74, 76, 78, 80, 82-83

ジャワオペラの現状をルポ。J.L.ピーコック著作のインドネシア語訳本の紹介。

2 4 4 9

Haji 2006 – meraih haji mabrur. (Info Tempo) Tempo 34(43) Dec. 25, 2005: p.[91], 94-96, 98, 100, 102

儀礼、通信手段、健康問題、巡礼資金などのメッカ巡礼情報を収録。

2 4 5 0

Skandal ketua PN Jakarta Selatan.
(Hukum) Forum keadilan 15(34) Dec. 25,
2005: p.24-27

一地裁が同一土地関連事件で2人の関係者に
それぞれ異なった判決を出した背景をルポ。

2 0 0 6 年 (社会、その他)

2 4 5 1

365 hari setelah tsunami. (Liputan khusus)
Tempo 34(44) Jan. 1, 2006: p.30-34, 36-38,
40-46, 48-52, 54, 56-66, 68, 70-72, 76-78, 80,
82-86, 88-96, 98-100, 102-106, 108-114,
116-121

大津波から1年後のアチエ。写真多数収録。

2 4 5 2

Kaleidoskop 2005 – tahun penuh bencana.
Tempo 34(44) Jan. 1, 2006: p.[122]-126,
128-146, 148-160, 162-168, 170, 172-177

2005年に起こった国内外の災害や政治・経
済・社会面の話題を写真で振り返る。